

令和5年度 JA高岡

営農記録ノート

～農作業のあしあと～



地 区 名 _____

生産組合名 _____

氏 名 _____

(あしあとをのこす人)

巻末の栽培管理記録簿は、**出荷前に必ず**
JAへ提出しましょう。



目 次

1. 重点事項	P 1
2. Jコート配合肥料の注意点	P 2・P 3
3. 水稻栽培ごよみ(JA米生産基準)	
・「コシヒカリ」の栽培ごよみ	P 4・P 5
・「てんたかく」の栽培ごよみ	P 6・P 7
・「てんこもり」の栽培ごよみ	P 8・P 9
・「新大正糯」の栽培ごよみ	P 10・P 11
・「直播コシヒカリ(鉄コティング)」の栽培ごよみ	P 12・P 13
4. JA高岡 施肥設計例	P 14・P 15
5. 主要農薬価格表	P 16
6. 農作業のあしあと	
・1月、2月 カレンダー	P 17
・3月 土づくり編	P 18・P 19
・4月 育苗編	P 20～P 23
・5月 田植え・雑草防除編	P 24～P 29
・6月 中干し編	P 30・P 31
・7月 穂肥編・病虫害防除編(てんたかく)	P 32～P 35
・8月 病虫害防除編(コシヒカリ)・水管理編	P 36～P 39
・9月 秋作業編	P 40～P 43
・10月 土づくり編	P 44～P 47
・11月、12月 ハウスの雪害対策編	P 48・P 49
・令和5年1月、2月 カレンダー	P 50
7. 経営に合わせ継続的な生産調整を実施しましょう	P 51～68
8. 栽培管理記録簿	
・栽培管理記録簿(記入例)	P 69・P 70
・栽培管理記録簿(提出用)	記入後 JA へ提出

重点事項

- 高品質な高岡産米を目指し、うるち米 1 等比率 90%以上
 - ・「営農記録ノート」を活用した基本技術の徹底
- 「安心・安全」な米づくり
 - ・富山県適正農業規範に基づく G A P 及び生産履歴記帳の実施
- 元気な土づくり
 - ・堆肥・珪酸質資材の積極的な施用や地力増進作物の作付け
- 高温登熟のリスク低減
 - ・高温条件でも品質が安定している「てんたかく」「てんこもり」の作付け
- 適正な生育量への誘導
 - ・田植え時期に合わせた健苗育成のための育苗計画（播種から 19 日以内）
 - ・適正な田植え作業（植付深さ 3 cm 程度、植付本数 3～4 本、70 株/坪）
 - ・田植え後の浅水管理による初期茎数の確保
 - ・田植え後 4 週間での中干しの実施
 - ・中干し後の間断かん水の実施
- 病虫害防除の徹底
 - ・農薬使用基準の厳守と周辺作物や住宅地への飛散防止
 - ・病虫害の発生に合わせた適期防除
 - ・畦畔や麦跡・雑草地などの管理の徹底
- 稲体の活力維持
 - ・出穂前の葉色に応じた追加穂肥の施用
 - ・出穂後 20 日間の湛水管理
 - ・収穫 5～7 日前までの間断かん水
- 適期の刈取りと乾燥・調製の実施
 - ・気象状況に応じた適期の刈取りや、適切な乾燥で胴割米の発生防止
 - ・清掃・選別の徹底による異品種や異物混入の防止

Jコート® 配合一発肥料の注意点

なぜJコート肥料に切替ったの？

現在、富山県内では水稻の8割近くで一発肥料が使用されていますが、肥料溶出後の樹脂被膜(殻)が水面に浮き上がり、河川や海に流出することが懸念されています。

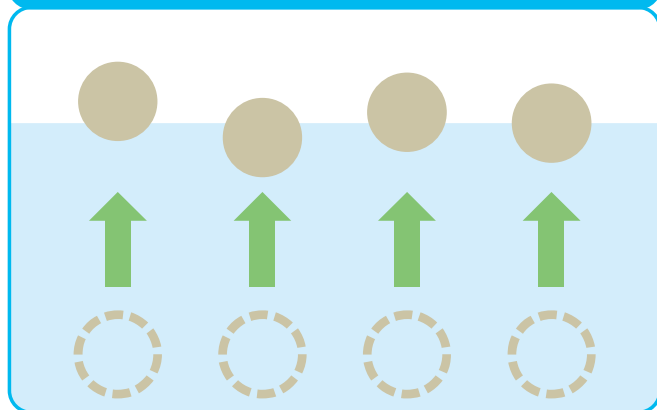
JAグループでは、環境問題に配慮し、令和2年産からコシヒカリ用肥料について、被膜の崩壊性を高めた「Jコート®」を配合した肥料へ切替をすすめました。

従来の肥料よりも粉立ちが目立つ？

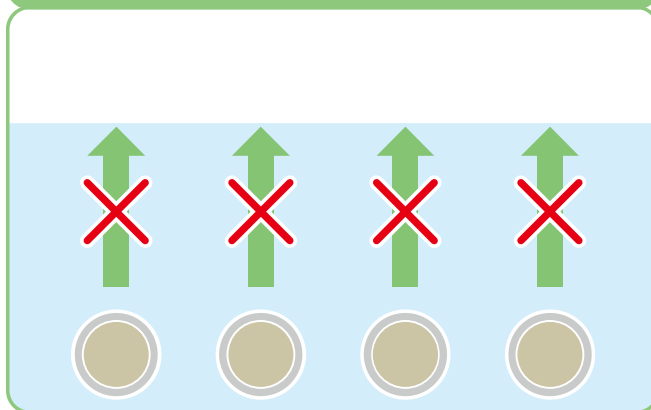
Jコート®肥料を含むコーティング肥料は、

水面への浮上防止や固結防止のために微粉末が処理されています。

コーティング肥料は撥水性があるため浮上する



微粉末を処理することで浮上を抑制



Jコート®肥料は従来品(LPコート)と比較し、

微粉末が付着しにくいため、剥離した微粉末により使用時に粉塵が目立つ場合があります。

粉塵の影響は大丈夫？

- ① 肥料に添加している微粉末は、**薬や食品等にも使用される安全なものです。**
- ② 田植機の**肥料詰まりや腐食性についての安全性を確認しております。**
- ③ 微粉末は肥料成分ではないので、**一発肥料の効果への影響はありません。**

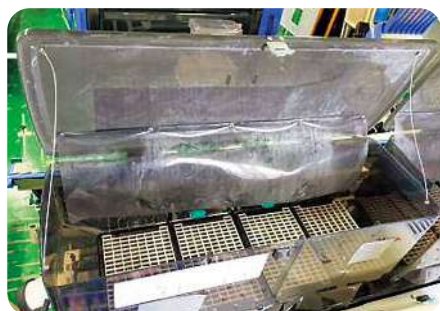
裏面へ ▶

田植作業時の一発肥料取扱いのポイント

いずれも基本的な事ですが、**怠ると固結や肥料詰まりの原因となり作業効率の低下に繋がりますので、確実に実施しましょう。**

田植作業開始前のポイント

- ① 作業前は必ず田植機の**肥料落下部分(施肥ホッパ、ホース、排出口)**に詰まりや水濡れが**無いかを確認**しましょう。



施肥ホッパ



ホース



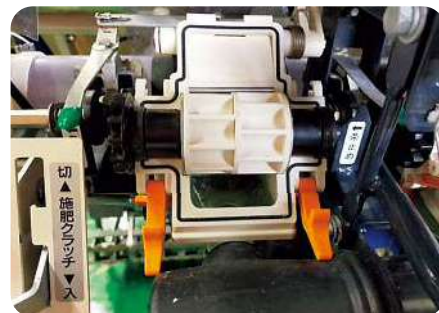
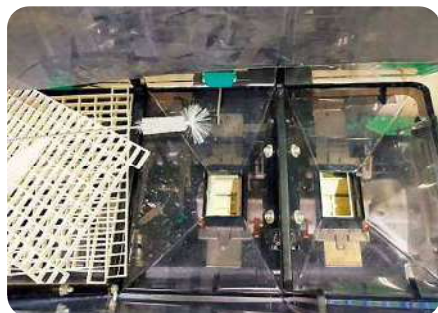
排出口

田植作業中のポイント

- ① 施肥ホッパの具合を確認しながら作業しましょう。
- ② 肥料規定量が落下しているか確認しましょう。

田植作業終了後のポイント

- ① 作業終了後は**必ず田植機ホッパ内に残った肥料を排出**しましょう。
 - ② 肥料排出後は**確実に肥料粉を掃除**しましょう。
- ※ご使用の機種によってメンテナンス方法が異なりますので、取扱説明書でご確認ください。
- ③ 排出した肥料を翌日以降に使用する場合は、袋に入れるなど密封して保管してください。



- ④ 田植機は圃場に放置せず、**毎日格納場所に戻**しましょう。

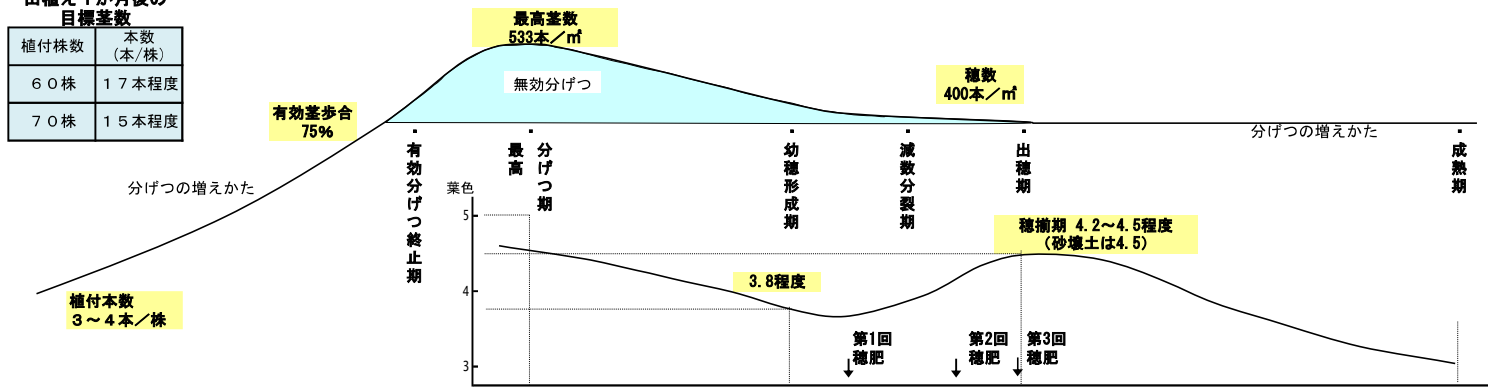
「コシヒカリ」の栽培ごよみ

収量構成の目安

収 量 構 成	目 安
㎡当たり最高茎数 (本)	533
有効茎歩合 (%)	75
㎡当たり穂数 (本)	400
平均一穂粒数 (粒)	70
㎡当たり着粒数 (百粒)	280
登熟歩合 (%)	87
玄米千粒重 (g)	22.5

田植え1か月後の 目標茎数

植付株数	本数 (本/株)
60株	17本程度
70株	15本程度



月 日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月		
草刈時期	★	★	★	★	★ 出穂	★ ←本田防除以降、収穫までは草刈りをしない→		
生育期 区 分	育 苗 期	活 着 期	有効分げつ期	無効分げつ期	幼穂形成期 出穂23日前	穂ばらみ期 出穂10日前	登 熟 期	収 穫 期
水管理		やや深水 田植期	浅水管理 軽めの田干し	中干しの徹底 除草剤散布時は 深水を保つ	間断かん水	幼穂形成期以降は飽水管理 (足跡の水が切れないように管理)	出穂から20日間は湛水状態を保つ	落水を急がない
栽 培 管 理 の ポ イ ン ト	・ 稲わらの腐熟を促進するため、秋起こしを行い、排水溝を設置する ・ 土づくり肥料はそれぞれの基準量を確実に施用する ・ 過乾燥による胴割米を発生させない ・ 仕上水分 14.5 % 15.0 % ・ 適期内に刈取り、刈り遅れのないように注意する ・ 籾の黄化率 85 % 90 % 程度が刈取り適期 ・ 収穫前に必ずクサネムやヒエなどの雑草を抜き取る ・ フェーン時はかん水して、葉身の萎れを防ぐ ・ 刈取り予定日の5 ～ 7 日前まで間断かん水する ・ 圃場全体に水が行きわたっているか確認する ・ 湛水期間はこまめに水を入れ、田水温の上昇を防ぐ ・ 穂揃期の葉色を 4.2 ～ 4.5 に誘導する ・ 3 回目穂肥は葉色に応じて出穂直前に行う ・ 本田防除の徹底（適期防除の実施） ・ 2 回目穂肥は 1 回目の 7 日後に確実に行う ・ 1 回目穂肥は幼穂長 15 ～ 20 mm を確認してから慎重に行う ・ 分施肥系の場合 ・ 幼穂形成期以降は飽水管理（足跡に水が切れないように管理する） ・ 幼穂形成期の葉色を 3.8 程度に誘導する ・ 分施肥系の場合 ・ 畦畔草刈りでカメムシ密度を下げる ・ 中干し後は間断かん水をくり返し土壌を固くする ・ 中干し開始は遅れないよう確実に行う（田植え後 4 週間までに実施） ・ 適正な中干しにより、根の活力を高めるとともに過剰分げつを抑制する ・ 早めに手溝を掘り、水のかん排水の効率化を図る ・ かん水は朝又は夕方に短時間に行う ・ 良質の茎を早く確保する ・ 除草剤散布は適期に行い、環境汚染に配慮し 1 週間程度は止水とする ・ 活着後は浅水管理とし、日中は止め水で田水温を高める ・ 全層施肥の場合は早期追肥を田植え後 7 日以内に施用する ・ 田植後 3 日間はやや深水として活着を早める ・ 一株の植付け本数は 3 ～ 4 本とし、3 cm 程度の深さに植える ・ 5 月 15 日頃を中心に田植を行い荒天時の田植えは避ける ・ 田植機の株数設定は 70 株/坪 に設定して作業を行う ・ 育苗施設は育苗ハウスの外で散布する ・ 病害虫予防のため育苗施設を行う ・ 基肥量は地区基準量を守る ・ 天候に合わせた温度管理を確実に行う ・ 播種量は乾籾で一箱当たり 120 g 以下としてよい苗を作る ・ 田面の均平をよくする ・ ゆっくりと耕起し、作土 15 cm 以上を確保する ・ 土づくり資材の散布							

「てんたかく」の栽培ごよみ

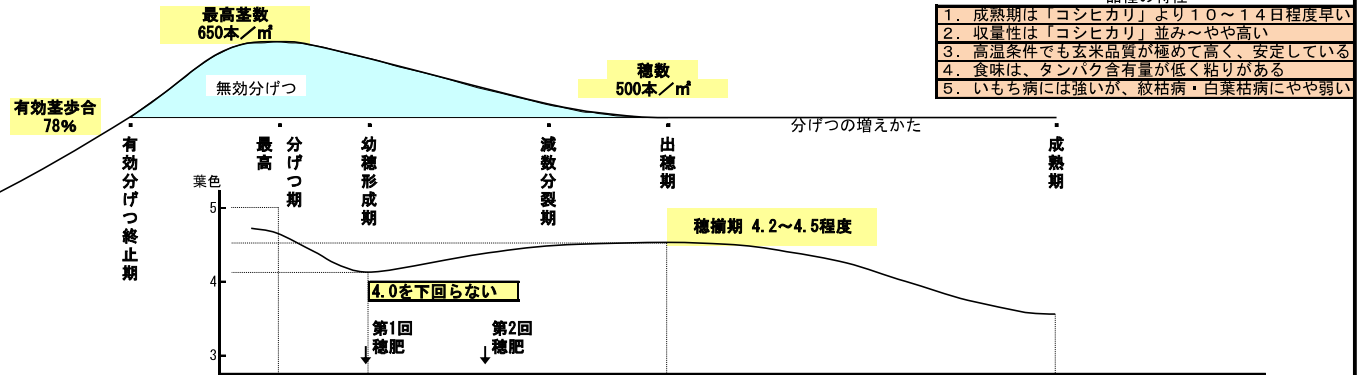
収量構成の目安

収 量 構 成	目 安
㎡当たり最高莖数 (本)	650
有 効 莖 歩 合 (%)	78
㎡ 当 たり 穂 数 (本)	500
平 均 一 穂 粒 数 (粒)	60
㎡ 当 たり 着 粒 数 (百粒)	300
登 熟 歩 合 (%)	85
玄 米 千 粒 重 (g)	23.5

田植え1か月後の 目標基準

植付株数	本数 (本/株)
70株	18本程度

植付本数
3～4本/株



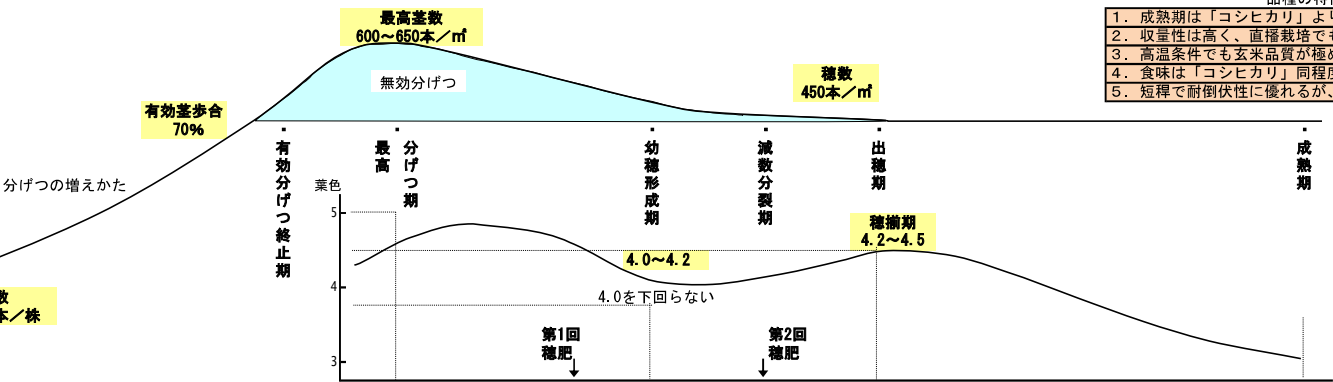
- 品種の特性
1. 成熟期は「コシヒカリ」より10～14日程度早い
 2. 収量性は「コシヒカリ」並み～やや高い
 3. 高温条件でも玄米品質が極めて高く、安定している
 4. 食味は、タンパク含有量が低く粘りがある
 5. いもち病には強いが、紋枯病・白葉枯病にやや弱い

月 日	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
草刈時期	★		★				★		出穂 ←本田防除以降、収穫までは草刈りをしない→		★	
生育期 区 分	育 苗 期		活 着 期	有効分げつ期		無効分げつ期		幼穂形成期	穂ばらみ期	出穂期	登 熟 期	収 穫 期
水管理			やや深水	浅水管理	中干しの徹底		間断かん水		幼穂形成期以降は飽水管理		出穂から20日間は湛水状態を保つ	
			軽めの田干し	除草剤散布時は深水を保つ				(足跡の水が切れないように管理)				落水を急がない
栽 培 管 理 の ポ イ ン ト	・ 稲わらの腐熟を促進するため、秋起こしを行い、排水溝を設置する ・ 土づくり肥料はそれぞれの基準量を確実に施用する ・ 過乾燥による胴割米を発生させない ・ 仕上水分 14.5 ～ 15.0 % ・ 適期内に刈取り、刈り遅れのないように注意する ・ 籾の黄化率 85 ～ 90 % 程度が刈取り適期 ・ 収穫前に必ずクサネムやヒエなどの雑草を抜き取る ・ フェーン時はかん水して、葉身の萎れを防ぐ ・ 刈取り予定日の5 ～ 7 日前まで間断かん水する ・ 圃場全体に水が行きわたっているか確認する ・ 湛水期間はこまめに水を入れ、田水温の上昇を防ぐ ・ 本田防除の徹底（適期防除の実施） ・ 2 回目穂肥は 1 回目の 10 日後に確実に行う 分施肥体系の場合 ・ 畦畔草刈りでカメムシ密度を下げる ・ 1 回目穂肥は幼穂長 1 mm を確認してから行う 分施肥体系の場合 ・ 幼穂形成期以降は飽水管理（足跡に水が切れないように管理する） ・ 幼穂形成期の葉色は 4.0 を下回らないようにする ・ 中干し後は間断かん水をくり返し土壌を固くする ・ 適正な中干しにより、根の活力を高めるとともに過剰分げつを抑制する ・ 中干し開始は遅れないよう確実に行う（田植え後4週間を目安） ・ 早めに手溝を掘り、水のかん排水の効率化を図る ・ 除草剤散布は適期に行い、環境汚染に配慮し1週間程度は止水とする ・ 良質の茎を早く確保する ・ 全層施肥の場合は早期追肥を田植え後7日以内に施用する ・ 活着後は浅水管理とし、日中は止め水で田水温を高める ・ 田植え後3日間はやや深水として活着を早める ・ 一株の植付け本数は 3 ～ 4 本とし、3 cm 程度の深さに植える ・ 田植機の株数設定は 70 株/坪 に設定して作業を行う ・ 苗箱施肥剤は育苗ハウスの外で散布する ・ 病害虫予防のため苗箱施肥を行う ・ 基肥量は地区基準量を守る ・ 天候に合わせた温度管理を確実に行う ・ 播種量は乾籾で一箱当たり 120 g 以下としてよい苗を作る ・ 田面の均平をよくする ・ ゆつくりと耕起し、作土 15 cm 以上を確保する ・ 土づくり資材の散布											

「てんこもり」の栽培ごよみ

収量構成の目安

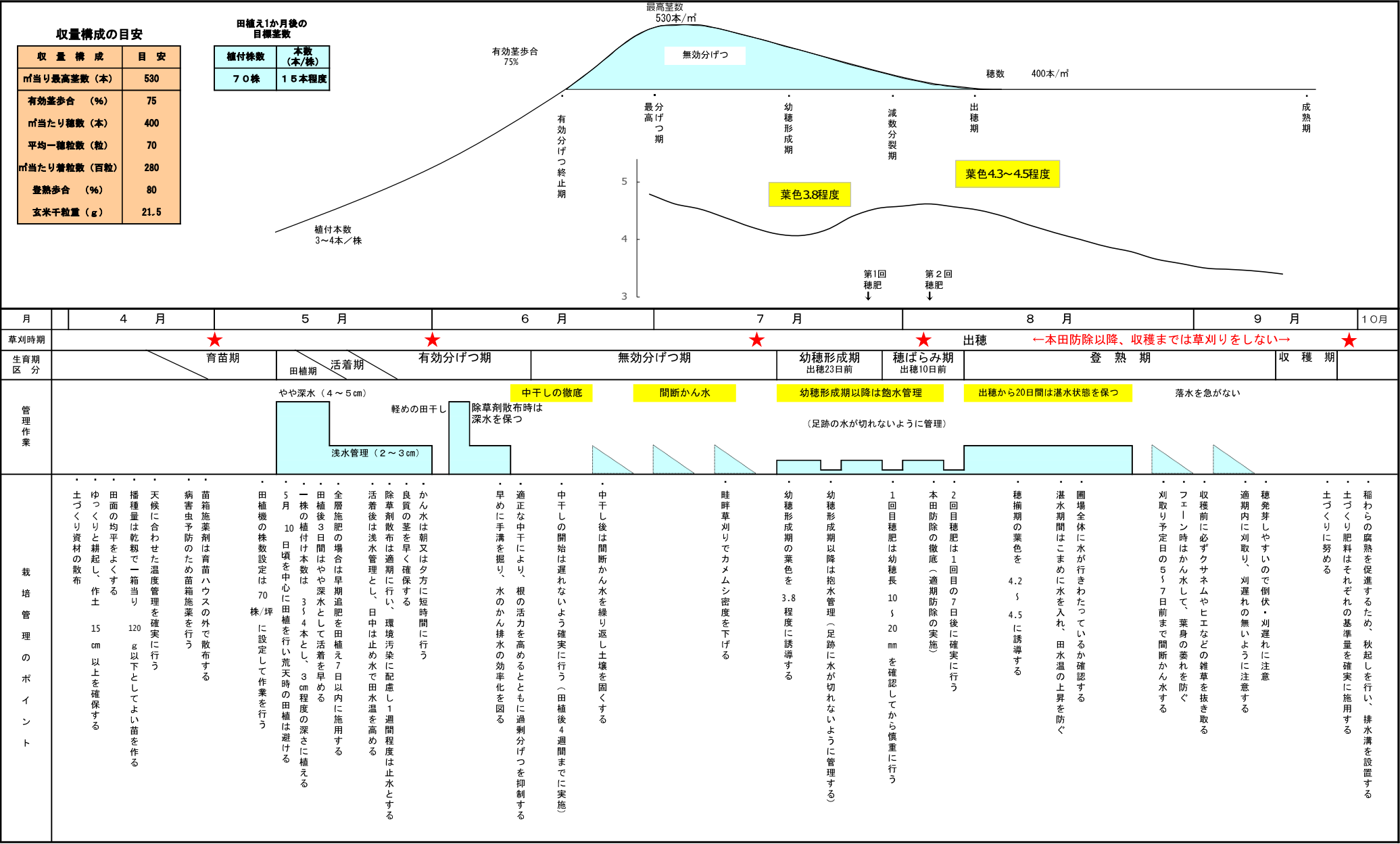
収 量 構 成	目 安
㎡当たり最高莖数 (本)	600～650
有 効 莖 歩 合 (%)	70
㎡ 当 たり 穂 数 (本)	450
平 均 一 穂 粒 数 (粒)	70
㎡ 当 たり 着 粒 数 (百粒)	300～320
登 熟 歩 合 (%)	85
玄 米 千 粒 重 (g)	22.5



- 品種の特性
1. 成熟期は「コシヒカリ」より7日程度遅い
 2. 収量性は高く、直播栽培でも収量が安定している
 3. 高温条件でも玄米品質が極めて高く、安定している
 4. 食味は「コシヒカリ」同程度で美味しい
 5. 短稈で耐倒伏性に優れるが、紋枯れ病にやや弱い

月 日	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月							
草刈時期	★		★		★		★		★ 出穂		★ ←本田防除以降、収穫までは草刈りをしない→							
生育期 区 分	育 苗 期		活 着 期		有効分げつ期		無効分げつ期		幼穂形成期		穂ばらみ期		出穂期		登 熟 期		収 穫 期	
水管理			やや深水		浅水管理		中干しの徹底		間断かん水		幼穂形成期以降は飽水管理		出穂から20日間は湛水状態を保つ		落水を急がない			
			軽めの田干し		除草剤散布時は 深水を保つ						(足跡の水が切れないように管理)							
栽 培 管 理 の ポ イ ン ト	・ 土づくり資材の散布		・ 播種量は乾粒で一箱当たり ・ 田面の均平をよくする ・ ゆっくりと耕起し、作土		・ 一株の植付け本数は ・ 田植機の株数設定は		・ 活着後は浅水管理とし、日中は止め水で田水温を高める ・ 全層施肥の場合は早期追肥を田植後7日以内に施用する ・ 良質の茎を早く確保する		・ 中干し後は間断かん水をくり返し土壌を固くする ・ 中干し開始は遅れないよう確実に行う（田植後4週間を目安） ・ 適正な中干しにより、根の活力を高めるとともに過剰分げつを抑制する		・ 幼穂形成期以降は飽水管理（足跡に水が切れないように管理する） ・ 幼穂形成期の葉色は ・ 畦畔草刈りでカメムシ密度を下げる		・ 本田防除の徹底（適期防除の実施） ・ 穂揃期の葉色を ・ 湛水期間はこまめに水を入れ、田水温の上昇を防ぐ ・ 圃場全体に水が行きわたっているか確認する		・ 過乾燥による胴割米を発生させない ・ 仕上水分 ・ 適期内に刈取り、刈り遅れのないように注意する ・ 粗の黄化率 ・ 収穫前に必ずクサネムやヒエなどの雑草を抜き取る ・ フェーン時はかん水して、葉身の萎れを防ぐ ・ 刈取り予定日の5～7日前まで間断かん水する		・ 稲わらの腐熟を促進するため、秋起こしを行い、排水溝を設置する ・ 土づくり肥料はそれぞれの基準量を確実に施用する ・ 土づくりに努める。	

「新大正糯」の栽培ごよみ



「直播コシヒカリ（鉄コーティング）」の栽培ごよみ

収量構成の目安

収 量 構 成	目 安
㎡当たり最高莖数（本）	550～600
有効莖歩合（%）	60～65
㎡当たり穂数（本）	360
平均一穂粒数（粒）	70
㎡当たり着粒数（百粒）	250
登熟歩合（%）	85
玄米千粒重（g）	23.0

施肥設計（例）

土 壌 区 分		(kg/10a)	
		鉄コート直播コシヒカリ (22-6-20) 側条施肥による 施用量	
沖 積	砂壤土	27	32
	壤土	27	32
	粘質土	18	22

雑草防除体系

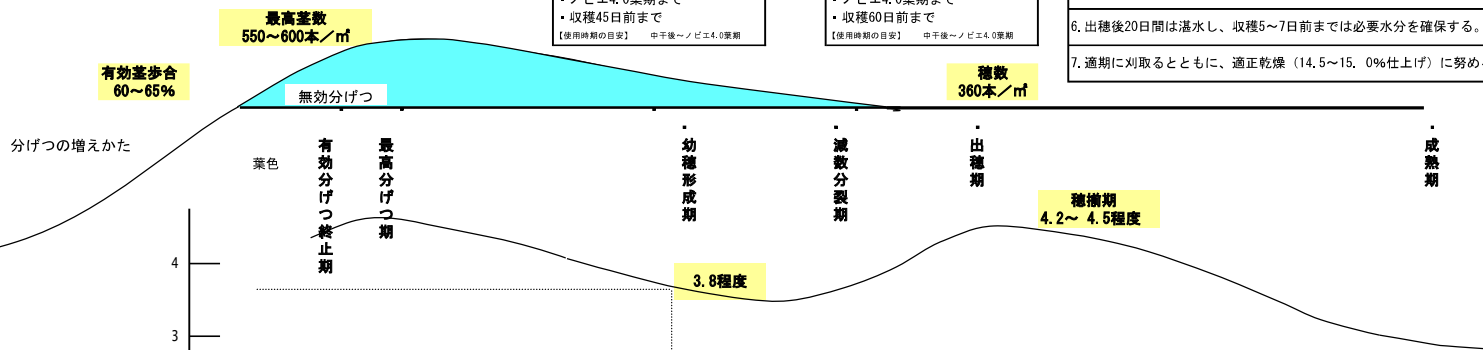
ペルーガ1キロ粒剤
 ・散布量 1kg/10a
 ・播種同時、散布機で施用
 ・ノビエ3.0葉期まで
 ・収穫90日前まで

アクシズMX1キロ粒剤
 ・散布量 1kg/10a
 ・稲1.0葉期を確認後に湛水散布
 ・ノビエ4.0葉期まで
 ・収穫45日前まで
 【使用時期の目安】 中干後～ノビエ4.0葉期

レプラスジャンボ
 ・散布量 10個(1袋)/10a
 ・稲1.0葉期を確認後に湛水散布
 ・ノビエ4.0葉期まで
 ・収穫60日前まで
 【使用時期の目安】 中干後～ノビエ4.0葉期

栽培のポイント

1. 均一な苗立ちを確保するため、ほ場の均平に努める。
2. 播種量は3.0～3.5kg/10aとし、㎡当たり60本程度の苗立ちを確保する。
3. 適正な中干しにより根の活力を高めるとともに、過剰分けつを防ぐ。
4. 幼穂形成期の葉色を3.8に誘導し、以降は飽水管理で葉色低下を防ぐ。
5. いもち病の発生に注意し、防除を徹底する。
6. 出穂後20日間は湛水し、収穫5～7日前までは必要水分を確保する。
7. 適期に刈取るとともに、適正乾燥（14.5～15.0%仕上げ）に努める。



月 日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
草刈時期		★		★	★	★
生育期 区 分	播種期	出芽・苗立期	有効分げつ期	無効分げつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期
水管理	湛水管理	飽水管理 (本葉1葉期)	浅水管理	中干し	間断かん水 (足跡の水が切れないように管理する)	飽水管理 出穂から20日間は湛水状態を保つ
栽培 管理 の ポ イ ン ト	・浸種積算 60度の種子に鉄コーティングする	・播種後5～7日間は湛水管理を行う ・播種同時または直後に除草剤を散布する ・施肥溝が残る程度のほ場の硬さで播種する ・基肥窒素量は移植より10アル当たり0.5～1.0kg減肥する ・出芽揃いを良くするため、ほ場の均平に努める ・種子は乾粒で 10アル当たり 3.0～3.5kgとする	・イネ 1.5～2.0葉期に2回目の除草剤を散布する ・6月上旬に溝を掘り、かん排水の効率化に努める ・6月中旬頃、葉いもちの予防剤を散布する ・中干しにより、根の活力を高めるとともに、過剰分けつを抑制する	・中干し後は、間断かん水を行う ・幼穂形成期の葉色は 3.8程度に誘導する ・幼穂形成期以降は飽水管理を行う ・カメムシ類の穂揃期防除を確実にを行う ・穂いもちの出穂直前・穂揃期の2回防除を確実にを行う ・出穂から20日間は湛水状態を保つ ・穂揃期の葉色は 4.2～4.5に誘導する	・刈取り予定日の5～7日前までかん水する ・フェーン時は事前かん水して、品質低下を防ぐ ・籾の黄化率 85～90%程度で適期に刈取る ・仕上げ水分 14.5～15.0% ・1.9mmのふるいで選別する	

J A 高岡 施肥設計例（J A 米生産基準）

単位：kg／10a

品 種 名			て ん た か く（5月5日前後植え基準）									
施 肥 時 期			基 肥			早期追肥	中間追肥	穂 肥		基		
			代かき前	田植え時		田植後7日以内	6月15日～20日	出穂25日前	出穂15日前	代かき前	田	
施 肥 体 系	設 計 番 号	肥料名	基肥555	LP555-1号	Jコート 早生専用	基肥555	（カリ入り）土づくり肥料を撒かない圃場 エスアイ加里らくだ	追肥3号		基肥555	LP555-1号	
		土壌区分										
全層施肥	1	砂壤土	28	—	—	11	0（15）	10	15	20	—	
	2	壤土（洪積含む）	24	—	—	11	0（15）	10	12	16	—	
	3	粘質土	20	—	—	11	0（15）	10	10	12	—	
側条施肥	4	砂壤土	—	32	—	—	0（15）	10	15	—	22	
	5	壤土（洪積含む）	—	28	—	—	0（15）	10	12	—	18	
	6	粘質土	—	24	—	—	0（15）	10	10	—	13	
側条一発 基肥施肥	7	砂壤土	—	—	40	—	0（15）	—	—	—	—	
	8	沖積壤土	—	—	40	—	0（15）	—	—	—	—	
	9	洪積壤土	—	—	35	—	0（15）	—	—	—	—	
	10	粘質土	—	—	30	—	0（15）	—	—	—	—	
うち豆跡	11	砂壤土	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	12	壤土（洪積含む）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

※地域や圃場の条件により施肥量は異なりますので、詳細については担当営農指導員までお問い合わせ
 ※直播栽培の施肥設計例は、P12.13の「直播コシヒカリ(鉄コティンガ)」の栽培ごよみをご参照下さい。

コ シ ヒ カ リ（5月15日前後植え基準）								て ん こ も り（5月10日前後植え基準）							
肥			早期 追肥	中間追肥	穂 肥			基 肥			早期 追肥	中間追肥	穂 肥		
植え時			田植後 7日 以内	6月15日 ～20日	出穂 15日 前	出穂 8日 前	出穂 3日 前	代かき 前	田植え時		田植後 7日 以内	6月15日 ～20日	出穂 25日 前	出穂 15日 前	
J コート コシヒカリ1号	J コート コシヒカリ2号	J コート 豆あとコシヒカリ	基肥555	（カリ入り） 土づくり肥料を撒かない圃場 エスアイ加里らくだ	追肥3号			基肥555	LP555-1号	LPss晩生専用	基肥555	（カリ入り） 土づくり肥料を撒かない圃場 エスアイ加里らくだ	追肥3号		
－	－	－	8	0（15）	10	10	5	32	－	－	11	0（15）	10	15	
－	－	－	8	0（15）	10	10	5	28	－	－	11	0（15）	10	12	
－	－	－	8	0（15）	7	10	5	24	－	－	11	0（15）	10	10	
－	－	－	－	0（15）	10	10	5	－	36	－	－	0（15）	10	15	
－	－	－	－	0（15）	10	10	5	－	32	－	－	0（15）	10	12	
－	－	－	－	0（15）	7	10	5	－	28	－	－	0（15）	10	10	
35	－	－	－	0（15）	－	－	5	－	－	45	－	0（15）	－	－	
30	－	－	－	0（15）	－	－	5	－	－	45	－	0（15）	－	－	
－	25	－	－	0（15）	－	－	5	－	－	40	－	0（15）	－	－	
－	20	－	－	0（15）	－	－	5	－	－	35	－	0（15）	－	－	
－	－	25	－	0（15）	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	20	－	0（15）	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	

ください。

●主要農薬価格表●

		薬剤名	規格	使用用途	予約価格	当用価格
苗箱施薬剤		Cs.オリゼリディアEV箱粒剤	1kg	いもち病 紋枯病 害虫防除	4,140 円	4,320 円
			10 kg	いもち病 紋枯病 害虫防除	40,152 円	41,830 円
除 草 剤	初 期	スラッシャ 1 キロ粒剤	1kg	初期一発剤 (4 型 ノビエ 2 葉期まで)	2,297 円	2,410 円
		ラオウ 1 キロ粒剤	1kg	初中期一発剤 (5 型 ノビエ 2.5 葉期まで)	2,958 円	3,140 円
		農将軍フロアブル	300ml	初期剤 (6 型液剤 ノビエ 1 葉期まで)	1,038 円	1,090 円
		ピラクロン 1 キロ粒剤	1kg	初期剤 (ノビエ 1.5 葉期まで)	1,602 円	1,680 円
	一 発	エンペラー 1 キロ粒剤	1kg	初中期一発剤 (1 型-1 ノビエ 3 葉期まで)	2,847 円	3,010 円
		ゼータジャガー1 キロ粒剤	1kg	初中期一発剤 (1 型-2 ノビエ 4 葉期まで)	3,082 円	3,270 円
		ゴウワンD L ジャンボ	700 g	初中期一発剤 (2 型 ノビエ 2 葉期まで)	3,419 円	3,610 円
		エンペラー豆つぶ 250	250 g	初中期一発剤 (ノビエ 3 葉期まで)	3,012 円	3,190 円
		ディオール顆粒	80g	初中期一発剤 (3 型 ノビエ 3 葉期まで)	3,005 円	3,200 円
		アールタイプフロアブル	500ml	初中期一発剤 (6 型液剤 ノビエ 2.5 葉期まで)	2,722 円	2,880 円
	中 期	レブラス 1 キロ粒剤	1kg	中期剤 (ノビエ 4.0 葉期まで)	3,600 円	3,820 円
		ザーベックス DX1 キロ粒剤	1kg	中期剤 (4 型 ノビエ 3.5 葉期まで)	2,297 円	2,410 円
		アクシズMX1 キロ粒剤	1kg	中期剤 (5 型 ノビエ 4 葉期まで)	3,311 円	3,530 円
	随 時	バサグラン粒剤	3kg	後期剤ー落水散布	3,261 円	3,530 円
		バイスコープ 1 キロ粒剤	1kg	中後期剤ー湛水散布	3,461 円	3,680 円
		トドメ MF 乳剤	200ml	中期剤 (ノビエ移植 7 葉期 直播 5 葉期まで)	2,145 円	2,290 円
		ヒエクリーン 1 キロ粒剤	1kg	後期剤 (ノビエ 4 葉期まで)	1,647 円	1,750 円
		トドメ MF1 キロ粒剤	1kg	後期剤 (ノビエ 5 葉期まで)	1,953 円	2,070 円
		クリンチャージャンボ	1kg	後期剤 (ノビエ 3~4 葉期まで)	2,783 円	2,930 円
		トドメバス MF 液剤	500ml	後期剤ー落水散布 (ノビエ 6 葉期まで)	2,177 円	2,310 円
		ロイヤント乳剤	200ml	後期剤ー落水散布 (ノビエ 5 葉期まで)	3,361 円	3,560 円
		テッケンジャンボ	500g	中後期剤 (ノビエ 4 葉期まで)	3,392 円	3,610 円
		ワイドパワー粒剤	3kg	中後期剤 (ノビエ移植 5 葉期 直播 4 葉期まで)	5,291 円	5,590 円
本 田 防 除 剤	粉 剤	ビームモンカットスタークルF 粉剤5DL	3kg	いもち病 紋枯病 害虫防除	2,128 円	2,260 円
		キクラブ粉剤D L	3kg	害虫防除	1,374 円	1,450 円
	粒剤	イモチエーススタークル粒剤	3kg	いもち病 紋枯病 害虫防除	5,121 円	5,410 円
	豆粒	ワイドパンチ豆つぶ	250 g	いもち病 紋枯病 害虫防除	5,356 円	5,660 円
	液 剤	ビームエイトスタークルゾル	500ml	いもち病 害虫防除	3,875 円	4,090 円
		モンカットフロアブル	500ml	紋枯病	1,922 円	2,030 円
		キクラブフロアブル	500ml	害虫防除	4,874 円	5,160 円
	随 時	ブラシン粉剤D L	3kg	稲こうじ病予防	1,444 円	1,530 円
		モンカットファイン粉剤 20D L	3kg	紋枯病予防	1,249 円	1,310 円
		モンガリット 1 キロ粒剤	1kg	稲こうじ病 紋枯病	3,170 円	3,340 円

2023

1 月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7
8	9 成人の日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2023

2 月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28	1	2	3	4

3月

高品質で安全・安心な米づくりは土づくりから

気象変動に負けない丈夫な稲を作り、高品質で美味しいお米を生産するためには、土づくりが重要です。また、土壌の pH 矯正はカドミウムの吸収抑制対策にもなります。

継続的な土づくりに積極的に取り組みましょう。



●土作り資材の継続的施用●



積極的にケイ酸質資材を施用しましょう!!

ケイ酸は稲にとって大変重要な成分です。ケイ酸は、葉や根を丈夫にして病気や倒伏に強い稲を作り、登熟を向上させます。また近年、酸性化したほ場も増加していますので、毎年継続して土づくり資材を施用しましょう。

土づくり資材の施用量及び成分

資材名	施用量 (kg/10a)	成分含有量(%)						
		ケイ酸	リン酸	苦土	鉄	加里	有機 (アツミン)	アルカリ分
①有機加里入り シリカロマン2号	80kg以上	20	3	4	4	4	20	34
②鉄田満太郎	100kg以上	20		2.7	20	6		26
③シリカロマン	80kg以上	25	5	7	5			45
④砂状ケイカル	200kg	31						48

※③・④を使用する場合、6月中下旬に**アイ加里らくだ・アイ加里投げくん**を施用しましょう。

GAPチェック!



取組事項ごとに自分の農業生産の現状と比較し、「○△×」で自己点検しましょう!!

「○」取組事項を実践している。
「△」取組事項を実践したが、効果が十分ではない。
「×」取組事項を実践していない。
「―」実践する必要がある。

No	取組事項	チェック日	チェック
1	死亡やけがに備えて、労災保険(労働者災害補償保険)等へ加入していますか? また、路上等で第三者を巻き込んだ事故(対人)や、機械等が破損(対物)した場合に備えた任意保険へ加入していますか?	月 日	
2	機種に応じた運転免許やナンバープレートは取得していますか? ※ロータリーを装着した状態で、長さ4.7m・幅1.7m・高さ2.0mを超える場合は、大型特殊免許が必要です。	月 日	
3	土づくり資材(ケイ酸質資材等)や有機物(堆肥、緑肥等)の施用による土づくりを行いましたか?	月 日	
4	経営規模・機械装備に応じ、バランスの取れた品種構成で作付を計画しましたか?	月 日	
5	農業機械は事前に整備、点検修理等を行い、交換部品は定期的に交換していますか?	月 日	

3月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 春分の日	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

農作業のあしあと



※「農作業のあしあと」に記録した内容を、
巻末の栽培管理記録簿へ記入しましょう。

N O	作業内容	作業日(期間)	資材名	散布量	その他(作業圃場の地名地番など)
1	土づくり資材散布			kg/10a	
				kg/10a	
2	有機物の施用			kg/10a	
				kg/10a	
3	耕起		—	—	
			—	—	
4					
5					

4月

売れる米づくりは、健苗育成から始まる！！

●育苗作業の目安●

※田植え日に合わせた育苗を行いましょう

品種	田植日	浸種開始	催芽	播種	ハウス搬出	田植	育苗日数(注)
てんたかく てんこもり	5/5	4/1	4/12	4/13	4/17	5/5	23 日程度
コシヒカリ	5/15	4/17	4/25	4/26	4/29	5/15	19 日以内

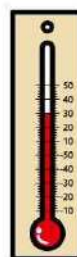
(注)育苗日数は播種した日からの日数です。

●浸種のポイント●

- ①水量は、種もみ 10kg に対して、水 30～40 ㍓使いましょう。
- ②水温は 10℃以上確保しましょう。
- ③浸種日数の目安は、積算温度で 100℃を確保しましょう。

【注意】

- ・水温が低い日が続く場合（10℃以下）は、浸種期間を十分に確保しましょう。
- ・水温が高くなると、種もみの糖化が進み水中の酸素濃度が低下するので、2 日に 1 回は水を交換しましょう。



ビニールハウス内に、**温度計**を設置しましょう！！

浸種の目安
(積算温度 100℃)

水温	浸種日数
10℃	10 日間
13℃	8 日間

●催芽(芽出し)のポイント●

- ①「はと胸」(芽の先端が 1mm 程度出た状態)(右図参照)
※伸びすぎは、播種ムラの原因になるので注意！！
- ②催芽時の加温目安時間：28～30℃で 18 時間程度
- ③育苗器で加温する場合は、サーモスタットや温度計が正しいか、事前に確認しましょう。

催芽の目安(はと胸状態)



●育苗期間防除の追加●

目 的	剤 型	希釈倍率	箱当たり施用量	使 用 方 法
細菌病防止	ナエファインフロアブル	2,000 倍	1,000ml	灌注
	カスミン液剤	4～8 倍液	50ml	播種後覆土前散布
	カスミン粒剤	—	30 g	育苗培土混和
			15～20 g	覆土混和
			15～20 g	播種後覆土前散布

※もみ枯細菌病の対策として、従来のカスミン液剤もしくは、カスミン粒剤を播種時に散布しましょう。
カスミン粒剤は一箱あたりの育苗培土に 30g 混ぜていただくか、覆土に 30g 混ぜる方法で使用できます。
もみ枯細菌病の発生が見られるハウスでは、カスミンの散布に合わせて育苗期間の温度管理を徹底しましょう。

換気を徹底し、ガッチリ苗に仕上げましょう！！

●育苗管理のポイント(初期)●



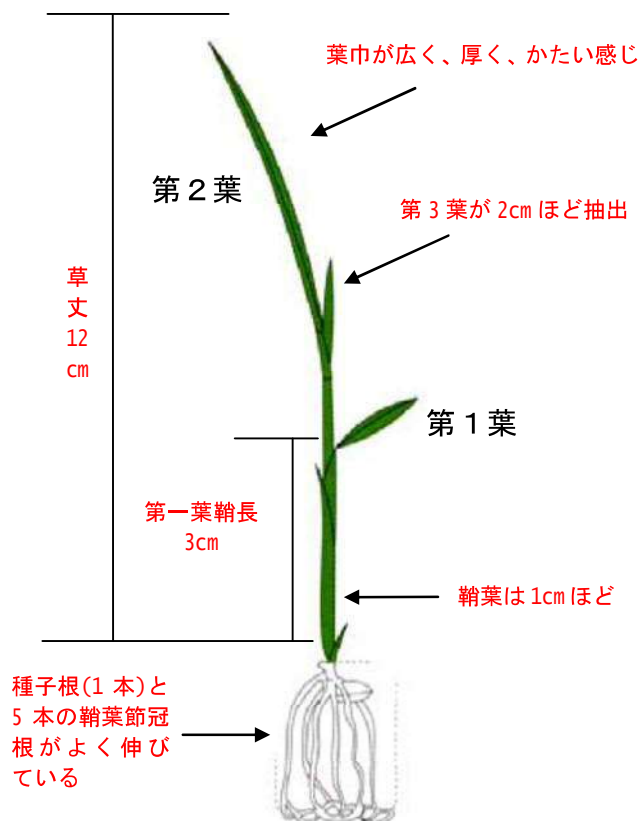
晴れた日は外気温が低くても、ハウス内は高温になるので早めに換気をしましょう

	温度管理		水管理
搬出から2～3日 (緑化期)	昼	20～25℃	▪原則として搬出時のかん水のみとする ▪覆土が白く乾いたら、日中でもかん水をする
	夜	10～15℃	
搬出から4～10日 (硬化期初期)	昼	20～25℃	▪原則は1日1回だけ、早朝にたっぷりやる ▪覆土が乾いたら適宜かん水(風の通り道は乾きやすいので注意)
	夜	10℃以上	

●育苗管理のポイント(後期)●

	温度管理		水管理
搬出から11日～ (硬化期後期) 12cm程度	昼	15～20℃	▪早朝にたっぷりかん水を行い、日中に覆土が乾いたら2度目のかん水を行う。 ※ただし、やりすぎには注意！！
	夜	10℃以上	

●良い苗づくり●



ポイント1

苗質の良否が、活着、初期茎数の早期確保に大きな影響を及ぼします。育苗日数が20日程度になるように、田植え日を基準にして播種計画を立てましょう。

ポイント2

ビニールが新しい場合や、透明ビニールを使用する場合は、日射が強くハウス内の温度が急激に上がるため、苗がヤケやすくなるので注意しましょう。

ポイント3

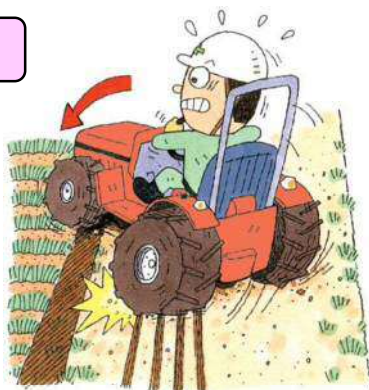
ムレ苗が発生または懸念される場合は、タチガレエースM液剤を500倍で1箱あたり500ml灌注しましょう。

ポイント4

肥切れの兆候が見られる場合は、1箱あたり硫安5g以内を水500mlに溶かして追肥しましょう。

こまめな温度管理で、病気のない健康な苗づくりに努めましょう。

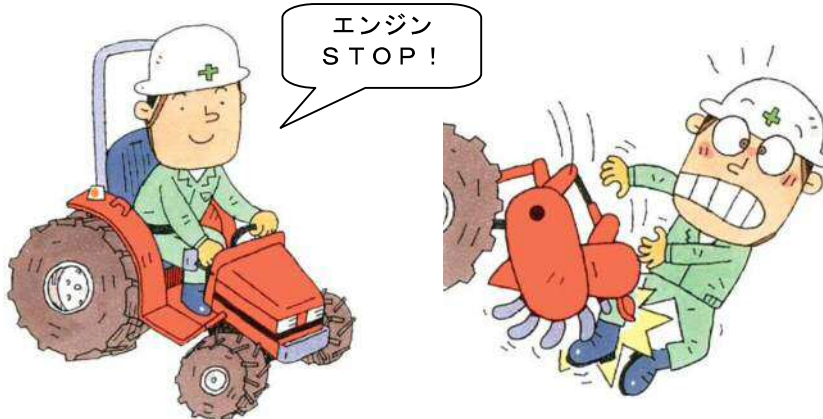
ブレーキペダルの連結



- 走行時に、片ブレーキになった場合ハンドルがとられて、転倒事故等に繋がりますので、ブレーキペダルの連結を忘れないようにしましょう。
- 作業終了後に、ブレーキペダルの連結を習慣にしましょう。

点検時の注意点

- 点検作業を行う場合は、必ずエンジンを切りましょう。
- 作業機の下に潜ったり、足を踏み込んだりしないようにし、作業機を上げて点検する時は、落下しないように固定しましょう。



整備の実施



- 整備不良が原因で、思わぬ事故をひきおこすことがありますので、作業開始前に故障しているところがないか確認をしましょう。
- シーズン終了後には、定期点検を受けるようにし、消耗部品等は新しいものに交換しておきましょう。

GAPチェック！



取組事項ごとに自分の農業生産の現状と比較し、「○△×」の三段階で自己点検しましょう！！

- 「○」取組事項を実践している。
- 「△」取組事項を実践したが、効果が十分ではない。
- 「×」取組事項を実践していない。
- 「－」実践する必要がない。

No	取組内容	チェック日	チェック
1	種子消毒廃液と消毒済み種子の適正な処理をしていますか？ 【例】種子消毒の廃液は適切な方法で処理し、播種が終わったら残った種子は速やかに廃棄処理を行っている。	月 日	
2	農業機械は事前に整備、点検修理等を行い、交換部品は定期的に交換していますか？ <u>栽培記録簿の「作業機械メンテナンス」欄に記入しましょう。</u>	月 日	
3	死亡やけがに備えて、労災保険(労働者災害補償保険)等へ加入していますか？また、路上等で第三者を巻き込んだ事故(対人)や、機械等が破損(対物)した場合に備えた任意保険へ加入していますか？	月 日	
4	機種に応じた運転免許やナンバープレートは取得していますか？ ※ロータリーを装着した状態で、長さ4.7m・幅1.7m・高さ2.0mを超える場合は、大型特殊免許が必要です。	月 日	
5	使用する農薬や燃料は適正な保管を行っていますか？ 燃料の容器は専用のものを使用していますか？	月 日	

4月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29 昭和の日
30						

農作業のあしあと



カレンダーに育苗ハウス内の温度を記録しておきましょう！！

No	作業内容	作業日(期間)	その他(使用した薬剤など)
1	浸種期間		水温____℃ × ____日間 = 積算温度 ____℃
2	苗箱消毒		イチバン
3	催芽		催芽温度____℃ × ____時間 ・ 催芽方法(循環式・育苗機・その他)
4	播種		ナエファイン ・ カスミン液剤 倍液 cc/箱 カスミン粒剤 g/箱
5	ハウス搬出		
6	畦畔の草刈り		
7	土づくり資材散布		資材名 散布量 Kg/10a
8	耕起		

5月

品質向上のポイントは分けつの確保！！

●苗箱施薬の実施●

使用薬剤名	対象病虫害	散布量
CS.オリゼリディア EV 箱粒剤	いもち病・紋枯病・いば・いばい・いばい・いばい	50g/箱 (1kg で 20 箱散布)

※苗箱施薬剤と除草剤を取り違えないように十分注意しましょう。



苗箱施薬剤は、必ず育苗ハウスから出した後、田植え直前 または 同時に散布しましょう。

苗箱施薬剤をハウス内で散布し、水稻育苗後に野菜を栽培した場合、収穫物が農薬残留基準値を超える恐れがあるため、ハウス内では絶対に散布しないでください。

●田植作業のポイント●

👉 適切な田植え作業で初期茎数を確保しよう

- ①代かきから田植えまでは、5日以内を目安にしましょう！
- ②田植え作業を行う前に、田植機の点検と設定を行いましょう！
- ③田植え開始時に 植付本数・植付深さ・肥料の落下量を確認しましょう！

※全層施肥の場合

田植え1週間後に早期追肥「基肥555」を散布しましょう！

てんたかく・てんこもり 11kg/10a

コシヒカリ 8kg/10a



項目	設定	注意点
基肥量	地域基準量	P14、P15の品種別施肥設計例を参考にしてください。 地域基準量が不明な場合は、担当営農指導員にお問い合わせください。
栽植密度	60～70 株/坪	茎数が確保しにくい圃場では、過剰着粒による品質低下を避けるため、70 株/坪植えを行いましょう。
植付け本数	3～4 本/株	生育のばらつきを少なくするために植付け本数を調整しましょう。
植付け深さ	3cm 程度	植付けが深すぎると茎数が増えにくくなります。 初期茎数を確保するためにも植付け深さを守りましょう。

●田植え後の水管理●



活着後の浅水管理で初期茎数を確保しましょう。

水温、地温の上昇に努め、初期生育の促進を図りましょう。



やや深水(4～5cm)

- ・ 植え傷みを防ぎ、活着を促進しましょう。

浅水管理(田面が露出しない程度)

- ・ 初期の分けつを促進しましょう。
- ・ 寒い日や風の強い日は深水にし、苗を守りましょう。
- ・ 早朝に入水、日中は止水し、田水温を高めましょう。
- ・ 藻が発生している圃場では、軽めの田干しを行いましょう。

田植え後
約1カ月の
水管理が
重要です！

雑草防除体系

◎一発処理型

【1型-1】（粒剤）	【1型-2】（粒剤）	2型（投げ込み）	3型（流し込み）
エンペラー 1キロ粒剤 （田植同時推奨） 散布量 1kg/10a （ノビエ3葉期まで） 【移植直後～13日まで】	ゼータジャガー 1キロ粒剤 （田植同時推奨） 散布量 1kg/10a （ノビエ4.0葉期まで） 【移植直後～11日まで】	ゴウワンDL ジャンボ 700g 散布量 70g × 10個/10a （ノビエ2.0葉期まで） 【移植直後～8日まで】	デオーレ 顆粒 散布量 80g/10a （ノビエ3.0葉期まで） 【移植3日後～8日まで】 充分な入水が可能な圃場

◎体系処理型

4型（粒剤）	5型（粒剤）	6型（液剤）
スラッシャ1キロ粒剤 （田植同時可） 散布量 1kg/10a （ノビエ2.0葉期まで） 【移植直後～10日まで】	ラオウ1キロ粒剤 （田植同時可） 散布量 1kg/10a （ノビエ2.5葉期まで） 【移植直後～8日まで】	農将軍フロアブル 散布量 300ml/10a （ノビエ1.0葉期まで） 【移植直後～5日まで】
↓	↓	↓
ザーベックスDX1キロ粒剤 散布量 1kg/10a （ノビエ3.5葉期まで） 【移植後20～30日まで】	アクシズMX1キロ粒剤 散布量 1kg/10a （ノビエ4.0葉期まで） 【移植後20～収穫45日前まで】	アールタイプフロアブル 散布量 500ml/10a （ノビエ2.5葉期まで） 【移植後12～16日まで】

※【散布時期】は、薬剤の登録範囲内で、除草効果を考慮した目安の時期となっています。

※体系処理型で雑草が残る場合は、随時防除が必要になることがありますので、担当営農指導員にご相談ください。

●雑草防除のポイント●



前年度の「営農記録ノート」P26のチェックを振り返り、
発生雑草にあわせた防除で確実に退治しましょう！！

田植え繰り下げに伴い、代かき後の気温が高くなり、雑草の生育が早くなります。
除草剤は遅れないように散布しましょう。



除草剤使用上の留意点

～農薬の「効果の安定」と「河川等への流出防止」のために～



- ①圃場の条件（水持ちの状態・雑草の発生具合）に合わせて、使用する除草剤を選択しましょう。
- ②代かきから田植えまでの日数は長くなりすぎないように注意しましょう。
- ③除草剤は5cm以上の深水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保ちましょう。
- ④田植同時散布機による除草剤施用の場合、軟弱苗や極端な浅植えは避け、薬害防止に努めましょう。
- ⑤河川等への流出防止のため、散布後7日間は落水しないようにしましょう。

●主な水田雑草●



発生している雑草を記録しておきましょう！！
チェック欄に☑を記入しましょう！！

チェック ☐



ウリカワ

チェック ☐



オモダカ

チェック ☐



カヤツリグサ

チェック ☐



コナギ

チェック ☐



ホタルイ

チェック ☐



マツバイ

チェック ☐



ヒエ

チェック ☐



クログワイ



体系処理後に雑草が残っている場合は、随時防除で雑草退治



【雑草随時防除薬剤】

適用雑草	剤型	薬剤名	使用量/10a (希釈水量)	使用時期	使用期限
ヒエ	粒剤	トドメMF 1キロ粒剤	1kg	移植後 14 日～ノビエ 5 葉期	収穫 50 日前
		ヒエクリーン 1 キロ粒剤	1kg	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期	収穫 45 日前
	投げ込み	クリンチャージャンボ	20 個(1 袋)	移植後 7 日～ノビエ 4 葉期	収穫 30 日前
			30 個(1.5 袋)	移植後 25 日～ノビエ 5 葉期	
	乳剤	トドメMF 乳剤	200ml(100ℓ)	移植後 14 日～ノビエ 7 葉期	収穫 50 日前
ヒエ 広葉雑草	粒剤	レブラス 1 キロ粒剤	1kg	移植後 14 日～ノビエ 4 葉期	収穫 60 日前
		ワイドパワー粒剤	3kg	移植後 20 日～ノビエ 5 葉期	収穫 60 日前
	投げ込み	テッケンジャンボ	10 個(1 袋)	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期	収穫 60 日前
	液剤	トドメバスMF 液剤	1000ml(100ℓ)	移植後 15 日～ノビエ 6 葉期	収穫 50 日前
		ロイヤント乳剤	200ml(100ℓ)	移植後 20 日～ノビエ 5 葉期	収穫 50 日前
広葉雑草	粒剤	バイスコープ 1 キロ粒剤	1kg	移植後 14～60 日	収穫 45 日前
		バサグラン粒剤	3～4kg	移植後 15～55 日	収穫 60 日前

※使用時期は薬剤の登録範囲内で、除草効果を考慮した目安の時期となっています。

※バサグラン粒剤・トドメMF 乳剤・トドメバスMF 液剤・ロイヤント乳剤は落水散布です。

※バサグラン粒剤は P27 の使用方法を参照ください。



発生している雑草に合わせて、除草剤を選びましょう。
除草剤の選び方や、使用方法がわからない時は担当営農指導員に相談しましょう。



バサグラン粒剤の上手な使い方



どんな雑草に効果的？

水田の多年生雑草に対して生育期の散布で優れた防除効果を発揮します。近年発生が多い「ウリカワ」「ホタルイ」「ミズガヤツリ」などに有効です。

しかし、「ヒエ」には効果が無いので、「ヒエ」の多い圃場では他の除草剤との体系防除で使用するようにしましょう。



ウリカワ



ホタルイ



ミズガヤツリ



ヒエ

使用上の注意点

- 水の移動に伴う移行性が大きく、一般に水深の浅いほど効果が安定します。使用にあたっては落水状態(足跡に水が残っている状態)にして水の出入りを止め、まきむらのないように均一に散布しましょう。

落水状態でも、中干のように圃場が乾いているような場合は、効果が劣ります。

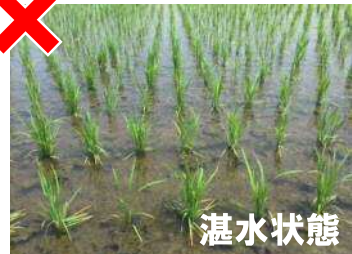
また、深水状態でも効果が劣りますので、水管理が非常に重要となります。



飽水状態

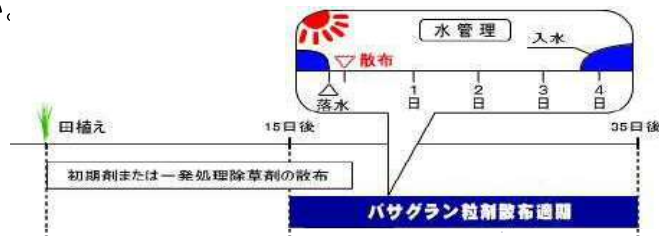


中干し状態



湛水状態

- 散布後少なくとも 3 日間(浅水処理は 5 日間)はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流しはしないでください。また、散布後 7 日間は降雨の有無にかかわらず落水しないでください。



うまく効かせるには
水管理や天気も非常に
重要なんだね！

- 処理後 2 日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用しましょう。
- イネ科雑草には効果が劣るので、田植前後の土壌処理除草剤で一年生雑草を防除した後、多年生雑草および一年生広葉雑草の防除を目的として使用してください。

「ヒヤリ」・「ハッと」は事故の元！事故のない農作業に努めましょう！



緊急時などに備え、作業機の動力遮断方法やエンジンの停止方法を、作業者全員が確認しましょう。



段差のある圃場への出入りや、あぜ道の乗り越えは直角に行いましょう。あぜ道を乗り越える際は、前輪が上がったり滑りやすいので、前進でゆっくりと走行しましょう。



エンジンの始動は、各操作レバーが中立の位置にあることを確認して行いましょう。
苗を補給する際は転落しないよう足元に注意し、田植え機を発進するときは周囲の安全確認を行いましょう。



無理のない作業計画を立て、適度に休憩をとるようにしましょう。

GAPチェック！



取組事項ごとに自分の農業生産の現状と比較し、「○△×」の三段階で自己点検しましょう！！

「○」取組事項を実践している。
「△」取組事項を実践したが、効果が十分ではない。
「×」取組事項を実践していない。
「－」実践する必要がある。

No	取組内容	チェック日	チェック
1	代かき後の濁水を流出しないようにしていますか？また、水稻除草剤の散布後は、一週間程度は止水・湛水状態を保つようにしていますか？	月 日	
2	基肥量は地域の土壌条件に応じた基準量とし、圃場ごとの施肥設計を作成していますか？ 【例】土壌診断などによる適正な基肥量を施用している。	月 日	
3	推奨されている農薬(除草剤など)を使用し、使用前にラベルをよく読み内容の確認を行い適正に使用していますか？	月 日	
4	農業機械は事前に整備、点検修理等を行い、交換部品は定期的に交換していますか？	月 日	
5	草刈りを行う場合は防護服などを着用し安全作業に努めていますか？また、刈り取った雑草は用排水路に流していませんか？	月 日	
		月 日	

5月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
30	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

農作業のあしあと



※「農作業のあしあと」に記録した内容を、
巻末の栽培管理記録簿へ記入しましょう。

N0	作業内容	作業日(期間)	使用農薬・肥料名	使用量・散布量(10a 当たり)
1	耕 起		—	—
2	荒 代 か き		—	—
3	代 か き		—	—
4	田 植 え		—	使用した苗の枚数 枚/10a
5	苗 箱 施 薬		CS.ホセリデ ィアEV 箱粒剤	50g/ 箱
6	基 肥			kg/10a
7	早 期 追 肥			kg/10a
8	除草剤散布(初期)			/10a
	除草剤散布(中期)			/10a

6月

適切な中干しで、登熟まで働き続ける根の確保

●溝掘りのポイント●



6月上旬頃には、設置しましょう

- ①軽く田干しを行い、泥を落ち着かせてから溝を掘りましょう。
- ②溝は15条に1本を目安に設置しましょう。
- ③溝は必ず排水口に連結しましょう。
- ④干しにくい部分（水口、枕地、畦際など）は重点的に設置しましょう。

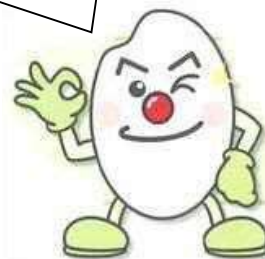


＜土が硬いと溝がしっかり残る＞



＜土が柔らかいと溝が崩れてしまう＞

中干しの効果を高め、生育後半までの水管理がしやすくなります。



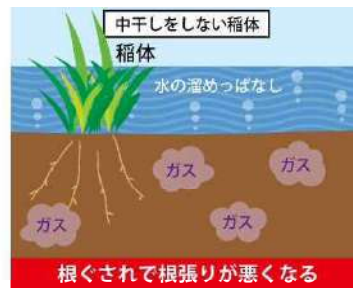
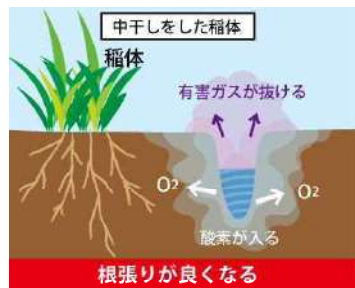
●中干しのポイント●



中干しは「田植えの4週間後頃まで」に遅れずスタートしましょう

【中干しの効果】

- ①土壌中の有害ガスの排出
- ②根の生育を促進
- ③過剰な分けつ抑制
- ④収穫時の圃場の硬さを確保



【中干しの程度】

- 土壌条件に応じて実施し、中干し終了後は圃場中央でくるぶしが軽く沈む程度を目安としましょう。
- ※茎数が多くなりやすい圃場や乾きにくい圃場は、やや強めに干しましょう。

【中干し後の水管理】

- 中干し後は、間断かん水を行いましょう。
- ⇒根に水と酸素を交互に与えることにより健全な稲体が維持できます。
- 幼穂形成期頃までに足跡の深さ3cm程度を目安としましょう。
- ⇒高品質で安全な米づくりに重要な出穂後の湛水管理に備えましょう。



●中間追肥(エスアイ加里らくだ・エスアイ加里カリ投げくん)を散布しましょう

※カリ入りの土づくり肥料を散布した場合は、中間追肥を散布する必要はありません。

中間追肥（エスアイ加里らくだ 15kg/10a・エスアイ加里カリ投げくん 200g×20 個/10a）を散布し、根の活力を高め、健全な稲体づくりで品質の向上に努めましょう。

いもち病の発生を防止するためにも、補植用の苗は圃場から除去しましょう。

6月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

農作業のあしあと



※「農作業のあしあと」に記録した内容を、
巻末の栽培管理記録簿へ記入しましょう。

N O	作業内容	作業日(期間)	使用農薬・肥料名	使用量・散布量(10a 当たり)
1	除草剤散布(中期)			/10a
	除草剤散布(後期)			/10a
	除草剤散布(随時)			/10a
2	中 干 し 開 始		—	—
3	中間追肥散布		エスアイ加里らくだ エスアイ加里カリ投げくん	kg/10a
4	畦畔の草刈り		—	—
5				

7月

適正な穂肥の施用で稲体の活力維持と品質向上！適期防除でカメムシ退治！

●てんたかくの穂肥と病害虫防除のポイント●

てんたかくの穂肥



てんたかくの葉色は4.0を下回らないようにしましょう。



【分施肥体系の場合】 ■5/5 頃田植えの場合：1回目穂肥は6月下旬～7月上旬

穂肥の施用時期と施用量(10a 当たり、追肥3号使用の場合)

施用時期		砂壤土	壤土 (洪積)	粘質土
1回目	・幼穂長が1mm ・葉色(葉色板)が4.0～4.5	10kg	10kg	10kg
2回目	1回目から10日後	15kg	12kg	10kg

※葉色が薄い(4.0を下回ることが予想される)場合

⇒ 砂壤土のほ場の場合、すぐに追肥3号を10kg/10a程度施用しましょう。

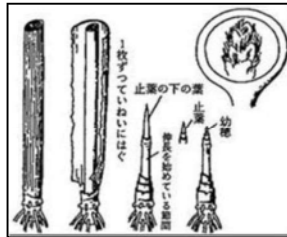
【基肥一発肥料施用体系の場合】 ※原則追肥をしない

・葉色が薄い(4.0を下回ることが予想される)場合、すぐに追肥3号を7kg/10a程度施用しましょう。

幼穂の確認方法！

稲を引き抜き

1枚ずつ丁寧に葉を
めくりましょう！



幼穂

てんたかくの病害虫防除



適期防除に努めましょう。
粒剤の散布は早すぎないように注意しましょう。

【防除薬剤の散布時期と散布量】

農薬の散布前に、P37をチェック!!

粉剤

散布時期	農薬名	散布量	病害虫
1回目穂揃期 (7月下旬)	ビームモンカットスタークル F 粉剤5DL	4kg /10a	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類 ツマグロヨコバイ
2回目傾穂期 (8月上旬)	キラップ粉剤DL	4kg /10a	ウンカ類・カメムシ類 イネドロオイムシ イナゴ類

※風のない時に散布するなど農薬飛散防止に努めましょう。

粒剤

散布時期	農薬名	散布量	病害虫
出穂の5日前	イモチエーススタークル 3キロ粒剤	3kg /10a	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類 ツマグロヨコバイ

豆粒剤

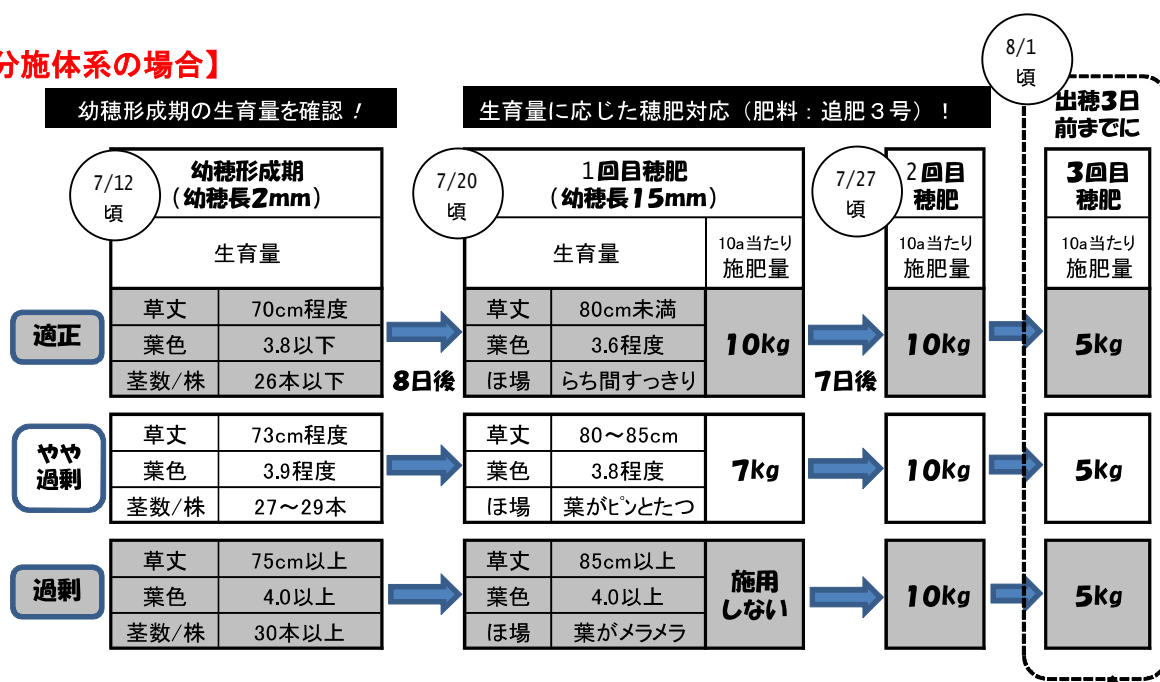
散布時期	農薬名	散布量	病害虫
出穂の 10～20日前	ワイドパンチ豆つぶ	250g /10a	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類

●コシヒカリの穂肥のポイント●

コシヒカリの穂肥

1 回目は「**慎重に**」、2 回目は「**確実に**」、3 回目は「**適切に**」

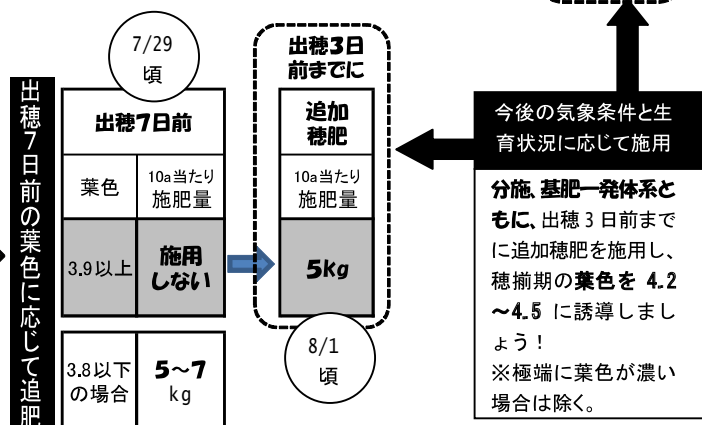
【分施肥系の場合】



【基肥一発肥料施用体系の場合】

幼穂形成期以降...

- ・これから多くの肥料が溶け出てきます。
- ・葉色が薄く見えても、安易な追肥はやめましょう。
- ・葉色が濃い場合には、田干しを行いましょう。



【注意】上記フローチャート内の日付は、幼穂形成期を 7 月 12 日頃（出穂 8 月 4 日頃）とした目安の日付ですので、その年の天候等により前後する場合があります。
また、地域や圃場間で生育状況が違いますので、今後の気象経過を見極めて、1 回目の穂肥は慎重に施用しましょう。詳細については、青田まわり等で担当営農指導員にご相談ください。

●飽水のポイント●

高温下での飽水管理は乾きすぎないように注意しましょう。

飽水管理とは、田面に水は溜まっておらず土には十分に水が含まれていて羊かん状になっている状態です。
入水と自然減水を繰り返して、足跡に少し水が溜まる程度がベストです。

【目的と効果】

- ・土に酸素を補給し、根腐れを防止し、伸長を促します。
- ・土中の有害ガス（硫化水素・メタンガスなど）が抜けます。
有害ガスが抜けると、根に酸素が補給され地中深く伸びます。
有害ガスがあると、根が横方向に伸び、株と株の間で肥料の奪い合いが始まります。地表部分の肥料が無くなり、肥料切れを起こす原因になります。



● 随時防除 ●

早期発見に努め、発生が見られた場合は必ず防除しましょう。



① 紋枯病は、高温・多湿が続くと発生しやすい。

② 稲こうじ病は、常発地・前年発生が多かった圃場で発生しやすい。



散布時期	病害虫	農薬名	10a 当たり散布量
早生：出穂 14 日前頃 中生：出穂 10 日前頃 晩生：出穂 7 日前頃	紋枯病	モンカットファイン粉剤 20DL	4 kg
	稲こうじ病	ブラシン粉剤 DL	4 kg
出穂 2～3 週間前	稲こうじ病 紋枯病	モンガリット 1 キロ粒剤	1～1.3kg
収穫 14 日前まで (追加防除)	ウカ・カメシ類	キラップ粒剤	3 kg

● コシヒカリの生育ステージと施肥時期の早見表 ●



7月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

農作業のあしあと



※「農作業のあしあと」に記録した内容を、
巻末の栽培管理記録簿へ記入しましょう。

No	作業内容	作業日(期間)	使用農薬・肥料名	使用量・散布量(10a 当たり)
1	畦畔の草刈り		—	—
2	早生の出穂期	月 日頃 (穂が全体の4~5割出た頃)		
3	穂 肥			kg/10a
				kg/10a
				kg/10a
4	病虫害防除			/10a
				/10a
	病虫害防除(随時)			/10a
5	病虫害の発生状況			

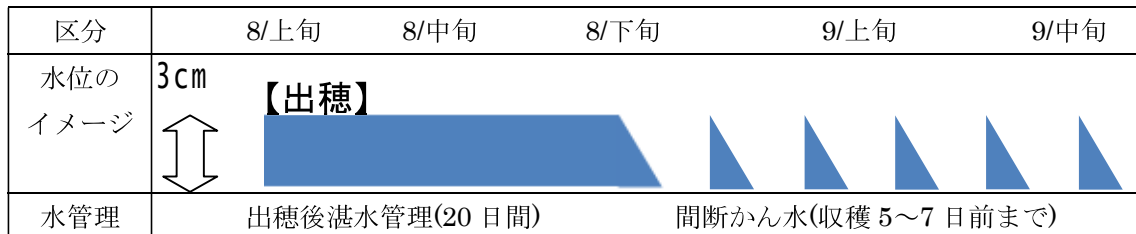
8月

高品質の決め手は水管理と病害虫防除

●コシヒカリの水管理と病害虫防除のポイント●

コシヒカリの水管理

水管理のイメージ



- ①出穂後20日間、湛水管理を徹底しましょう。
- ②収穫の5~7日前まではしっかり間断かん水を！
- ③フェーンが予想される時は、事前に入水しましょう。

コシヒカリの病害虫防除

【防除薬剤の散布時期と散布量】 ※出穂期を8月4日頃と推定した場合の目安

粉剤

散布時期	農薬名	散布量	病害虫
1回目出穂期 (8/4頃)	ビームモンカッタスタークル F 粉剤5DL	4kg /10a	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類 ツマグロヨコバイ
2回目穂揃期 (8/11頃)	キラップ粉剤DL	4kg /10a	ウンカ類・カメムシ類 イネドロオイムシ イナゴ類

※風の無い時に散布するなど農薬飛散防止に努めましょう。
※防除効果を高めるために、1回目と2回目は10日以上間隔を空けないようにしましょう。

粒剤

散布時期	農薬名	散布量	病害虫
出穂直前 (8/1頃)	イモチエーススタークル 3キロ粒剤	3kg /10a	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類 ツマグロヨコバイ

液剤

散布時期	農薬名	散布量	病害虫
1回目出穂期 (8/4頃)	ビームエイトスタークルゾル 1000倍液 モンカッタフロアブル 1000倍液	100~150ℓ /10a	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類 ツマグロヨコバイ
2回目穂揃期 (8/11頃)	キラップフロアブル 1000倍液	100~150ℓ /10a	ウンカ類・カメムシ類 イネドロオイムシ イナゴ類

※風の無い時に散布するなど農薬飛散防止に努めましょう。
※防除効果を高めるために、1回目と2回目は10日以上間隔を空けないようにしましょう。

豆粒剤

散布時期	農薬名	散布量	病害虫
出穂の 10~20日前	ワイドパンチ豆つぶ	250g /10a	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類

●農薬使用時の注意点●



生産者同士や地域の方々と連携をとり、農薬使用時には連絡を密に行いましょう。



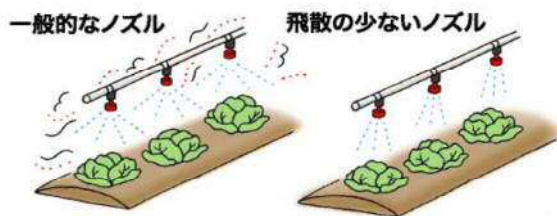
風の無い日や弱い時刻を選んで散布しましょう。散布中でも風向き・風速は変化するので常に注意が必要です。



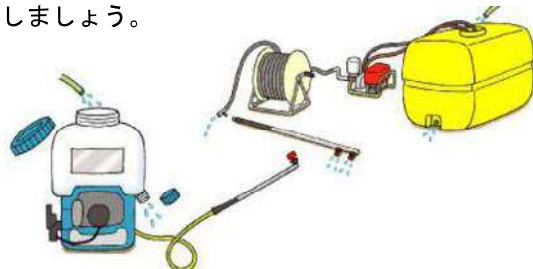
周辺圃場の作物状況を確認し、より多くの作物に使用できる農薬を選ぶなど、使用農薬も見直しましょう。



対象作物から離れた所から散布すると、飛散しやすくなるので、なるべく作物の近い位置から散布しましょう。



飛散の少ないノズルに切り替えたり、粒剤など、より飛散しにくい剤型に代えることでも、効果があります。



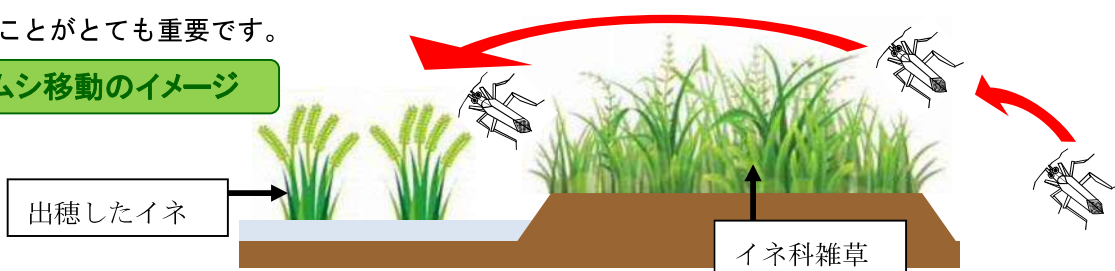
農薬が散布器具に残っていると作物に薬害が生じたり、未登録の農薬が残留するなど思わぬ事態が起こります。タンクやホース等に薬剤が残らないようしっかりと洗浄しましょう。

畦畔のイネ科雑草はカメムシを呼び込む

斑点米の原因となるカメムシ類は、イネ科植物の穂を好み、イネの穂よりもイネ科雑草の穂の方を好む傾向があります。カメムシ類はイネの穂に集まるより前に、畦畔のイネ科雑草の穂に集まります。その後、イネが出穂すると圃場に移り、イネを加害します。

カメムシによる斑点米の被害を抑えるためには、まず、畦畔のイネ科雑草の穂が出ないように畦畔の草刈を行うことがとても重要です。

カメムシ移動のイメージ



畦畔でよく見られるイネ科雑草



●収穫適期のポイント●

てんたかく



近年、高温により出穂が早回っています。刈り遅れによる胴割米が発生しないよう、適期に収穫を行いましょう。

- 籾の黄化率を十分に確認の上、適期に収穫を行いましょう。
- 籾の黄化率85～90%を目安に収穫しましょう。
- 早刈りは青未熟粒、刈り遅れは胴割粒の発生原因となります。

品 種	出 穂 期	刈取時期
てんたかく	7月18日頃	8月21日～8月24日頃



※上記の刈取時期は、近年の出穂期から予測される日付ですので、出穂以降の天候や圃場の条件等により変動します。出穂期や刈取適期は、「稲作管理情報」や担当営農指導員に確認しましょう。



収穫は地域の刈取標準田を参考にしてください。
圃場によって刈取適期が異なりますので必ず黄化状況を確認しましょう。

※乾燥調製のポイントや収穫時の注意事項などは、9月のページに記載してあります。

栽培管理記録簿の提出をしましょう！

春からの作業内容を振りかえり、「農作業のあしあと」に記録した内容を、巻末の栽培管理記録簿に記入しましょう。

栽培管理記録簿の記帳・提出は **JA米加算金(300円/60kg 個)の要件** になっています。

提出がない場合は、概算金から 300円/60kg 個、減額した買い入れとなります。



GAPチェック！



取組事項ごとに自分の農業生産の現状と比較し、「○△×」の三段階で自己点検しましょう！！

- 「○」 取組事項を実践している。
- 「△」 取組事項を実践したが、効果が十分ではない。
- 「×」 取組事項を実践していない。
- 「－」 実践する必要がない。

N O	取組内容	チェック日	チェック
1	農薬の使用法・使用基準（使用量・収穫前日数・使用回数など）は守りましたか？ 農薬を使用した月日や散布量を農作業のあしあとに記録しましょう。	月 日	
2	農薬散布前に、地域の方へ周知するなどし、生産者同士や地域の方々とのコミュニケーションはありましたか？ また農薬は、無風または風の弱い時間帯に散布を行いましたか？	月 日	
3	農薬を使用する場合は、保護衣（カッパ）、マスク、手袋などを着用しましたか？	月 日	
4	収穫前に、圃場内の異品種や異物の除去を行い、コンバインや乾燥機、籾摺り機などの点検や清掃は行いましたか？	月 日	

8月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 山の日	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

農作業のあしあと



※「農作業のあしあと」に記録した内容を、
巻末の栽培管理記録簿へ記入しましょう。

N O	作業内容	作業日(期間)	使用農薬・肥料名	使用量・散布量(10a 当たり)
1	畦畔の草刈り		—	—
2	中生の出穂期	月 日頃 (穂が全体の4～5割出た頃)		
	晩生の出穂期	月 日頃 (穂が全体の4～5割出た頃)		
3	穂 肥			kg/10a
				kg/10a
4	病 害 虫 防 除			/10a
				/10a
5	落水日(てんたかく)		—	—
6	湛 水 期 間	月 日 ～ 日		

9月

美味しい高岡産米！！米づくりのラストスパート！！

●収穫適期のポイント●

コシヒカリ



刈り遅れによる胴割米が発生しないよう、適期に収穫を行いましょう。

- 籾の黄化率を十分に確認の上、適期に収穫を行いましょう。
- 籾の黄化率 85～90%を目安に収穫しましょう。
- 早刈りは青未熟粒、刈り遅れは胴割粒の発生原因となります。

品 種	出 穂 期	刈取時期
コシヒカリ	8月4日頃	9月13日～16日頃



※上記の刈取時期は、出穂期から予測される日付ですので、出穂以降の天候や圃場の条件等により変動します。
出穂期や刈取適期は、「稲作管理情報」や担当営農指導員に確認しましょう。



収穫は地域の刈取標準田を参考にしてください。
圃場によって刈取適期が異なりますので必ず黄化状況を確認しましょう。

【注意事項】

- ① 大規模経営体や営農組織では、籾黄化率 80%から刈取を開始し、刈り遅れのないよう計画を立てましょう。
- ② コンバインの故障や脱粒(だっぷ)の原因になりますので、収穫作業は朝露が落ちてから行いましょう。
- ③ 収穫した生籾は、ヤケ米防止のためにも4時間以内に通風乾燥しましょう。

●乾燥調製のポイント●

適正な乾燥・調製により品質の向上に努めましょう。

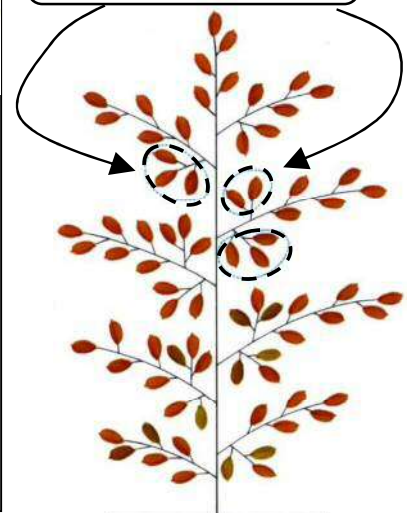
急激な乾燥は
胴割粒の発生に
つながります！



- 玄米水分は **14.5～15.0%** に仕上げましょう。
- 胴割粒の発生を防止するため、乾燥はゆっくりと行いましょう。
- 水分が 17% 以下になったら自動水分計に頼らず、手動水分計を用いてこまめに水分をチェックしましょう。
- 籾すり前には籾の水分と温度を確認しましょう。
- 肌ずれ米防止のため、籾の温度が常温になってから籾すりを行いましょう。
- 1.9ミリのふるい目を使用するとともに、機械の能力に見合った玄米流量を厳守しましょう。

刈取適期の目安

網かけの2次枝梗籾が
黄化した時が
籾黄化率 85～90%



●清掃・点検を徹底し事故を防ぎましょう●



お米は食品です。
清掃や点検は必ずしましょう。

- コンバインや乾燥機の清掃を行い、異物や動物の死骸・糞などが混入しないようにしましょう。
- 施設内への野鳥等の侵入防止や清掃・選別の徹底により、異品種・異物混入を防止しましょう。
- 出荷米に籾の混入が散見されます。籾すり機のゴムロールは定期的に交換しましょう。

「ヒヤリ」・「ハッと」は事故の元！事故のない農作業に努めましょう！

●稲刈り作業で多発する事故●

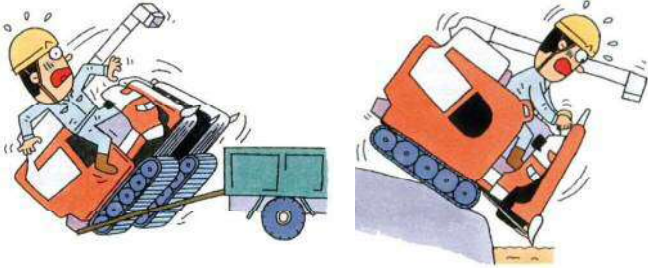


初心にかえって安全な農作業に努めましょう。

転倒・転落



油断大敵！



- あゆみ板でのトラックへの積み下ろしは、機械があゆみ板を踏み外し転落する恐れがあるため、慌てずゆっくりと行いましょう。
- あぜ越えをする時は、低速で、あぜに対して直角に進むようにしましょう。
- 路肩が崩れやすいところや細い農道では、特に慎重に操作を行いましょう。

人や障害物との接触



周囲を確認しましょう

- コンバインは後方視界が悪いため、障害物や補助作業者にぶつかる恐れがあるため、旋回や方向転換の際は、周囲の安全確認を徹底して行いましょう。
- 共同作業や補助作業者の位置を常に確認し、エンジン始動時やバックする際にはホーンやホイッスル等で合図するようにしましょう。

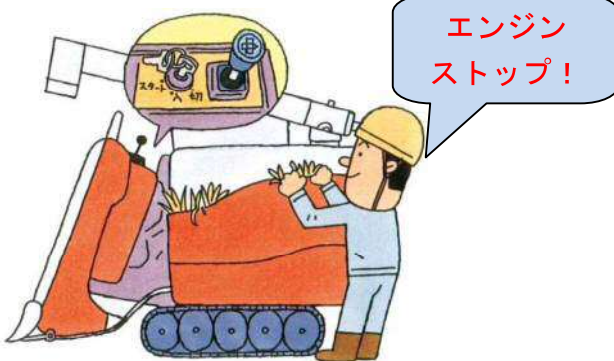


夕暮れ時の事故

- 周囲の状況が分かりにくく、思わぬトラブルを引き起こしますので、夕暮れ時には早めのライト点灯を行うようにしましょう。
- 作業の終わりが近づくと、疲れや集中力の低下により事故の発生率が高くなりますので、無理な作業は行わないようにしましょう。



コンバインへの巻き込まれ



ヘルメットの着用

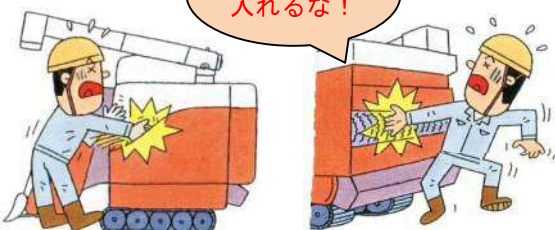
身体に合った服装

袖口スッカリ！

スッカリした裾

滑りにくい靴

手を
入れるな！



- チェーンやカッターに詰まったワラを取り除く時は、必ずエンジンを切りましょう。
- 作業時の服装は腰タオルなど、巻き込まれやすいものは避け、袖口のボタンを締めるようにしましょう。
- 手こぎ作業時は、フィードチェーンへの巻き込まれに注意して作業を行うようにし、軍手などは使用しないようにしましょう。

米トレーサビリティ制度について



生産者の方だけでなく、ＪＡを含む米の流通に関わる全ての事業者が、同様の取組みを行わなければならないこととなっています。

✓ 伝票を受領

- ①出荷申込書(受領書)の生産者控え
- ②米穀販売代金精算通知票

✓ 3年間保存

受領した伝票は3年間保存してください。

✓ 産地を伝達

「お米」を一般消費者に直接販売する際には、必ず産地を伝えてください。

用途限定米穀については、加工用米は **加**、米粉用米は **粉**、飼料用米は **飼** などと、記載が必要です。
伝票等を保存していなかった場合には… **罰則規定（50万円以下の罰金）が適用**になります。



GAPチェック！



取組事項ごとに自分の農業生産の現状と比較し、「○△×」の三段階で自己点検しましょう！！

- 「○」取組事項を実践している。
- 「△」取組事項を実践したが、効果が十分ではない。
- 「×」取組事項を実践していない。
- 「－」実践する必要がある。

No	取組内容	チェック日	チェック
1	死亡やけがに備えて、労災保険(労働者災害補償保険)等へ加入していますか？また、路上等で第三者を巻き込んだ事故(対人)や、機械等が破損(対物)した場合に備えた任意保険へ加入していますか？	月 日	
2	機種に応じた運転免許やナンバープレートは取得していますか？	月 日	
3	収穫前に、圃場内の異品種や異物の除去を行いましたか？	月 日	
4	コンバインや乾燥機、粃摺り機などの点検や清掃は行いましたか？また、常に清潔で衛生的な状態を保っていますか？	月 日	
5	刈取標準田や稲作情報などによる情報収集に努め、適期の刈取りや、適正な乾燥調製を行いましたか？	月 日	
		月 日	

9月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日
24	25	26	27	28	29	30

農作業のあしあと



※「農作業のあしあと」に記録した内容を、
巻末の栽培管理記録簿へ記入しましょう。

NO	作業内容	作業日(期間)	その他(作業圃場の地名地番など)
1	落水日 (コシヒカリ等)		
2	収穫日		
3	乾燥機の清掃		
4			
5			

10月

高品質で安全・安心な米づくりは土づくりから！！

収穫後に土づくり資材を散布し秋起しをすることで、土の中に空気を入れ、土を柔らかくします。

また、有機物の施用や緑肥作物の栽培により、稲ワラ等の腐熟促進や地力の向上につながりますので、積極的な土づくりに努めましょう。



●土づくり資材の継続的施用●



積極的にケイ酸質資材を施用しましょう。

ケイ酸は稲にとって大変重要な成分です。

ケイ酸は、葉や根を丈夫にして病気や倒伏に強い稲を作り、登熟を向上させます。

また近年、酸性化したほ場が増加していますので、毎年継続してケイ酸質資材を施用しましょう。

※土づくり資材名および施用量は3月のページ(P 18)に記載されています。

●ごま葉枯病の発生について●



カリ・鉄分・マンガンを補給しましょう



近年「ごま葉枯病」の発生が多く見られています。

発生条件として、土壤に含まれる窒素・カリ・鉄分・マンガンが不足し、生育期後半に栄養凋落（秋落ち）となった場合が挙げられます。

秋落ちが見られた圃場では、カリ・鉄分・マンガンの補給に特化した「鉄田満太郎」をオススメします。



ごま葉枯病



●緑肥作物の栽培●



土壤改良で保肥力の向上に努めましょう。



緑肥作物(地力増進作物)とはどのようなものですか？



緑肥作物とは、土壤を肥沃化する目的で栽培され、堆肥のように腐熟させずにすき込まれる作物のことです。緑肥作物をすき込むことで、土壤の理化学性を改善し保肥力を向上させると共に、水稻の作付に必要な微生物相を望ましい状態を持続しやすくなります。

主な緑肥作物の種類とすき込み成分量等の例

分類	作物名	窒素量 (kg/10a)	炭素量 (kg/10a)	播種量 (kg/10a)	播種時期
マメ科	ヘアリーベッチ	9～17	80～180	3～5	稲刈り後～10月上旬
	レンゲ	5～10	50～110	3～4	稲刈り後～10月上旬
イネ科	エンバク	3～9	110～380	8～15	秋：9月下旬～10月中旬 春：3～5月

※上記の緑肥作物は、水稻作付後に播種し、越冬後にすき込む「冬作物」を紹介してあります。

大麦等の作付後に播種をする「夏作物」もありますので、詳細については担当営農指導員へお問い合わせください。

※緑肥作物の栽培方法(播種方法・すき込み時期など)は、作物により異なりますので営農指導員へご相談ください。

●秋起こしの実施●



秋・春の2回耕起で作土深の拡大を図りましょう。



●土づくり資材の施用後、秋起こしをしましょう。

●土壌と稲わら等が混和する程度に浅く起こしましょう。稲わらや籾がらにはケイ酸が多く含まれているので、焼却せず、圃場に均等に散らして確実にすきこみましょう。

●秋起こし後は、腐熟を促進させるため、排水溝を掘って、水吐尻にしっかり連結し、排水を良くしましょう。



よく使う除草剤の特徴を知ろう！



除草剤には、たくさんの種類があります。それぞれの特徴を理解することで、上手に除草剤を選択して散布することができます。そこで、除草剤の種類と、よく使われる除草剤「バスタ」・「ラウンドアップ」・「プリグロックスL」の特徴をそれぞれご紹介します。

除草剤の種類

除草剤には大きく分けて、「**茎葉処理剤**」と「**土壌処理剤**」の2種類があります。

茎葉処理剤とは…既に発生している雑草の茎や葉に散布することで薬剤が茎葉部から吸収されて雑草を枯らしめます。

土壌処理剤とは…雑草の発生前から発生初期に土壌表面に散布して雑草の発生を抑えます。

さらに、「**非選択性除草剤**」と「**選択性除草剤**」に分けることができます。

非選択性除草剤とは…薬剤がかかった雑草や作物は全て枯らしめます。

選択性除草剤とは…特定の作物以外の雑草や作物を枯らしめます。

バスタ

- 「茎葉処理」除草剤で、「非選択性除草剤」です。
- 浸透移行性はほとんど無いので、散布場所の近隣の作物に飛散したとしても、薬剤がかかった部分が枯れるだけなので、影響は限定的です。
- 枯れるのは地上部のみで、根は枯らしません。（根が枯れないので畦畔が崩れません）
- 効果はやや早く発現し、やや長く持続します。



ラウンドアップ マックスロード

- 「茎葉処理」除草剤で、「非選択性除草剤」です。
- 浸透移行性があり、茎葉に薬剤がかかると有効成分が浸透し、根まで枯らしめます。
- 効果はやや早く発現し、効果はやや長く持続します。
- 散布後1時間が経過していれば、その後に雨が降っても効果を発揮します。
- 効果は遅く発現し、長く持続します。



プリグロックスL

- 「茎葉処理」除草剤で、「非選択性除草剤」です。
- 浸透移行性はなく、薬剤がかかった部分のみ枯れます。近隣の作物に飛散したとしても、薬剤がかかった部分が枯れるだけなので、影響は限定的です。
- 枯れるのは地上部のみで、根は枯らしません。（根が枯れないので畦畔が崩れません）
- 効果は早く発現し、持続期間は短いです。
- 散布後15分が経過していれば、その後に雨が降っても効果を発揮します。
- 庭の苔への影響が少ないので、苔を育てている箇所で使用できます。
- 「種子発芽後枯殺効果」があり、イネ科植物体上の種子に付着した場合、成熟した種子がこぼれ落ちて、その種子の出芽を阻害する効果があります。
- 医薬用外毒物**に該当しますので、ご購入の際は印鑑が必要です。



※いづれも気象条件等のその他条件により、除草効果に差が出る場合があります。

- 「○」 取組事項を実践している。
- 「△」 取組事項を実践したが、効果が十分ではない。
- 「×」 取組事項を実践していない。
- 「－」 実践する必要がない。

自ら振り返ることが大切！！



A red pencil is shown checking a box, symbolizing the completion of a task or the final step in a process.



肥料や農薬の残ったものは、品名・数量・使用期限等を記録しておきましょう。

[illegible]

10月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9 スポーツの日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

農作業のあしあと



※「農作業のあしあと」に記録した内容を、
巻末の栽培管理記録簿へ記入しましょう。

N O	作業内容	作業日(期間)	資材名	散布量	その他(作業圃場の地名地番など)
1	土づくり資材散布			Kg/10a	
				Kg/10a	
2	有機物の施用			Kg/10a	
				Kg/10a	
3	耕 起		—	—	
			—	—	
4					
5					

11月 12月

積雪によるハウスの倒壊を防ごう！

近年、降雪が少ない年や、大雪になる年など、冬の気候に大きな差があります。

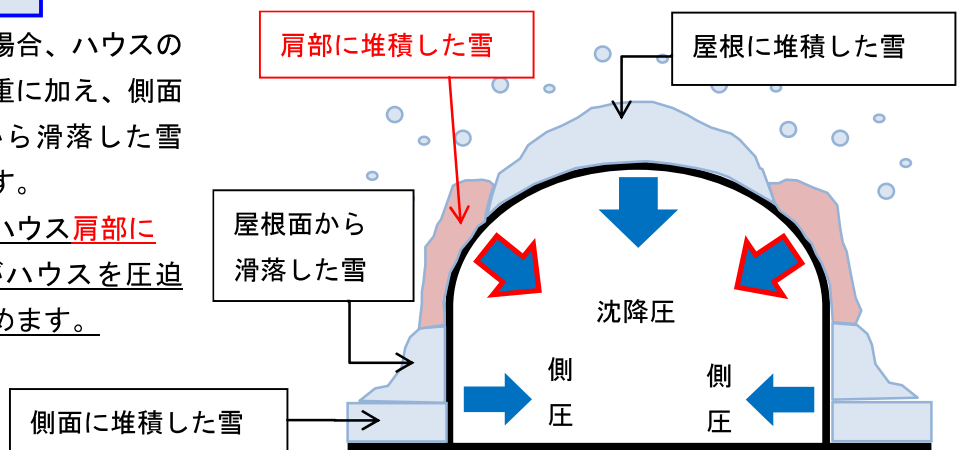
「今年の降雪は少ないだろう」と思い込み、育苗ハウスのビニールを張ったままにしておくと一晩のうちに大雪になり、ハウスが倒壊する危険性があります。

ハウスが倒壊すると、来年の春からの育苗作業に大きな影響が出るため、ハウスの雪害対策を行い、育苗ハウスを倒壊から守ることが非常に重要です。

ハウスが受ける力

雪が真下に降り積もる場合、ハウスの屋根に堆積する雪の荷重に加え、側面に堆積した雪や屋根から滑落した雪による側圧がかかります。

さらに積雪が進むと、ハウス肩部に堆積した雪の沈降圧がハウスを圧迫し、倒壊の危険性を高めます。



ハウスの雪害対策

- ・融雪型・耐雪型でないハウスは、積雪前にビニールをはずしておきましょう。
- ・屋根上の遮光・防風ネットは雪の滑落を阻害するので、速やかに除去しましょう。
- ・冬作として野菜等栽培しているハウスは、ハウス内に耐雪支柱等を設置し、補強しましょう。
- ・散水による融雪を行う場合には、事前に排水路の整備・清掃を行い、積雪前から散水を行いましょう。
- ・こまめにハウス横の除雪を行う。とくに連棟ハウスの場合はハウスの間に屋根面から滑落した雪が単棟ハウスより早い段階で増えるので注意しましょう。
- ・急激な積雪など、緊急時にはビニールを切ってハウスの倒壊を防止しましょう。
- ・タイバーを設置することでハウス自体の強度を高くしましょう。



作業時の安全対策

- ・作業は万が一に備え、複数人で行うようにしましょう。
- ・足場や高所からの転落に注意しましょう。
- ・落雪には十分注意し、ヘルメット等を着用しましょう。
- ・作業時には携帯電話を持ち歩き、常に連絡を取れるようにしておきましょう。

作業は安全第一で、慌てずに行いましょう！



その他ご不明な点は担当営農指導員にお問い合わせください。

11月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
29	30	31	1	2	3 文化の日	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24	25
26	27	28	29	30	1	2

12月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2024 1月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
31	1 元日	2	3	4	5	6
7	8 成人の日	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2024 2月

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29	1	2

経営に合わせ継続的な生産調整を実施しましょう

生産調整には色々な手法があります

耕作放棄地は、農地としての復帰に時間がかかり、景観も悪くなります。
家族や地域で話し合い、農地を守る取り組みを行いましょう。

主穀作

- 大麦（栽培暦）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5 2、5 3
- 大豆（栽培暦）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5 4、5 5

高収益作物

- ほうれんそう・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5 6
- さといも・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5 7
- ニンジン・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5 8
- 白ねぎ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5 9
- キャベツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6 0
- たまねぎ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6 1
- だいこん・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6 2
- じゃがいも・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6 3
- なす・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6 4
- トマト・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6 5
- きゅうり・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6 6
- その登録の農薬を散布して大丈夫ですか？・・P 6 7・6 8

- その他 JA 高岡 HP で以下の野菜について閲覧できます。
かぼちゃ・えだまめ・とうもろこし・ブロッコリー
ピーマン・にんにく・おくら・ショウガ
すいか・小松菜・かぶ・はくさい・レタス
ズッキーニ・さつまいも

<http://www.ja-takaoka.or.jp/einou/yasaino-tukurikata.html>



高岡の野菜を使用した商品(カレー・ますの寿司等)に、このロゴマークを貼り付け特産品として販売しています。

大麦栽培ごよみ

全量1等で売れる大麦の生産を!!



令和4年8月
高岡市農業技術者協議会
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

基本技術の徹底と生育に合わせた管理で収量・品質の向上を目指しましょう！

【目標】 単収 350kg/10a

1等比率	90%以上
整粒比率	80%以上
品質ランクA格付	100%

【栽培のポイント】

- ① 排水対策の徹底
- ② 土づくりの実践と的確な基肥施用
- ③ 計画的な播種(時期に応じた播種量の遵守)
- ④ 除草剤を使用した雑草防除
- ⑤ 赤かび病等の適期防除

★大麦は排水対策が重要

- 稲刈り後、すみやかに深さ 20 cm以上の額縁排水溝を設置する
- サブソイラによる心土破碎で、ほ場の乾きを促進する

★土づくり

pH6~6.5の確保と有機物の施用

資材名	耕起前
苦土石灰	100 kg/10a 以上
発酵ケイフン	150kg/10a

★目標苗立数と播種量の目安(ドリル播)

播種時期	目標苗立数 (本/㎡)	播種量の目安 (kg/10a)
9月6半旬	140	6.0
10月上旬	150	6.5
10月中旬	200	8.5

★基肥(基準施肥量) 地力に応じて加減する

Jコート大麦48号 45kg/10aを目安に

(追肥) 原則として追肥は行ないませんが、生育状況に応じて消費後に追肥を行う場合があります。

※詳細は管理情報等でお知らせします。

★雑草防除 〜ガスノントウ、ガスノグサ等の防除に!〜

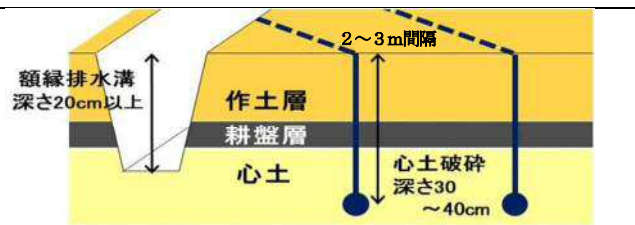
薬剤名	散布量(/10a)	使用時期
リベレーター フロアブル	60~80mℓ 希釈水量100ℓ	播種後〜麦3葉期 (雑草発生前〜イネ科雑草1葉期まで)
リベレーター-G	4~5kg	播種後〜麦2葉期 (雑草発生前〜イネ科雑草1葉期まで)

*処理後に大量の降雨が予想される場合は使用を避ける

★赤かび病防除

	液剤体系	粉剤体系	ラジヘリ体系
1回目薬剤 穂揃期(開花初め)	トップジンM水和剤 1,000倍(150L/10a)	トップジンM粉剤DL (4kg/10a)	トップジンMザル 8倍(0.8L/10a)
2回目薬剤 1回目の1週間後	シルバキュアフロアブル 2,000倍(150L/10a)	ワークアップ粉剤DL (3kg/10a)	シルバキュアフロアブル 16倍(0.8L/10a)

【設置例】



【生育ステージ】

12/1 頃の目標茎数
600~800 本/㎡

苗立数
140~220 本/㎡

苗立

本葉6~7枚

幼穂形成期
(2月上旬)

m穂数
450本

穂揃期
(4月下旬)

《収量構成要素》
・m穂数 450本
・1穂収量 1.04g

《刈取り適期の目安》
出穂後43日(平年)
積算温度(平年)745℃
子実水分30%

成熟期
(6月上旬)

上部2/3がツメで抑えてもつぶれない
下部1/3はボツンとつぶれる。

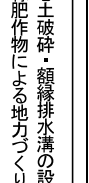
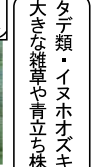
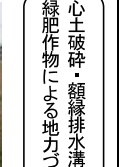
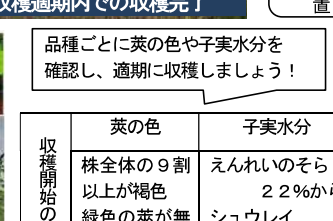
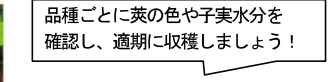
	9月中・下旬	10月上旬	11~12月	1~2月	3月	4月	5月	6月
栽培管理のポイント	★稲刈り後速やかに額縁排水溝を設置する		★適正播種量で苗立数を確保する			★基本防除と適期刈取りで、高品質麦に仕上げる		
	排水の徹底 ●サブソイラによる心土破碎と弾丸暗渠の施工 ※スクリーナーや等による額縁排水溝の設置 ●水稲収穫後、速やかに排水対策を実施する	土壌pHの矯正 ●土壌pH6以上を目標として、耕起前に苦土石灰を10a当たり100kg以上施用する	種子消毒 ●種子消毒を徹底し、病害虫の発生を防止する	薬剤消毒法 ベンレートT水和剤20を種子重量の0.5%を粉衣する。(種子10kgに水200mlを加えて種子を湿らせてから薬剤50g混和する。)	施肥・耕起・砕土・作溝・播種 ●排水溝は、随時手直しをする ◎播種量は、播種方法・播種時期に合わせて適正量を守る ●基肥量は、地力に応じて加減する ●土が乾いた状態で耕起作業を行い、土を細かくする ●一連の作業は1日で終了する	排水溝の手直し(随時) 肥効調節型肥料(一発肥料)の追肥は原則不要	赤かび病の防除	収穫後の管理 ●刈取り適期は、子実粒がロウ状の硬さになり爪を立てて潰れ、乾燥・調製 ●速やかに抜き取る ●カラスノエンドウの種子混入を防ぐため、発生したらなるので注意する ●開花期に多雨、曇天が続くと赤かび病が発生しやすい ●2回目・・・1回目の1週間後 ●1回目・・・穂揃期(開花始め)

「売れる高岡産大豆」を生産しましょう！

令和5年産

大豆栽培こよみ

高岡市農業協同組合
富山県高岡農林振興センター

生育 ステージ	5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
	排水対策・土づくり		播種適期 発芽期		草丈・節数増加期		開花期		英伸長期 子実肥大期		成熟期 収穫期			
作業名 チェック	☐ 排水 対策	☐ 石灰 散布	☐ 種子 消毒	☐ 播種	☐ 1回目 培土	☐ 2回目 培土	☐ 畦間 かん水	☐ 1回目 防除	☐ 2回目 防除		☐ 収穫	☐ 秋起し		
主な 作業	縦線排水溝 心土破碎  まず早めに排水対策		石灰散布  播種作業は慌てず、確実に！		種子消毒  一連の作業は1日で実施！		縦線砕土 施肥 播種  2回目 本葉4～5葉 播種後30～35日		除草剤散布  1回目 本葉2～3葉 播種後20～25日		1回目培土  2回目培土 播種後30～35日		2回目培土  1回目防除 播種後20～25日	
	大豆に発生する主な病害虫 		収穫準備 		収穫 		次年度対策 							
	晴天が3日以上続いたら入水 (開花期～9月上旬頃まで) 		うね間かん水で落葉を防止！ 		難防除雑草類は確実に除去 									
	品種ごとに英の色や子実水分を 確認し、適期に収穫しましょう！ 		収穫開始の目安 											
	<table><tr><th>英の色</th><th>子実水分</th></tr><tr><td>株全体の9割 以上が褐色 緑色の英が無い</td><td>えんれいのそら 22%から シュウレイ 20%から</td></tr></table>		英の色	子実水分	株全体の9割 以上が褐色 緑色の英が無い	えんれいのそら 22%から シュウレイ 20%から								
英の色	子実水分													
株全体の9割 以上が褐色 緑色の英が無い	えんれいのそら 22%から シュウレイ 20%から													

土づくり

- ◎ 大豆は中性に近い土壌を好むので、pH は6.0～6.5を目標に必ず石灰資材を施用しましょう。
- ◎ 地力の低下と加里を補うため、発酵鶏ふんを施用しましょう。

【土づくり・基肥量の目安(10a 当たり)】

資材名	単作	麦跡
苦土石灰	100 ～200 kg	
発酵鶏ふん	100 ～150 kg	
BB084 (10-18-24)	砂質～壤質土	20kg 35kg
	粘質土	15kg 30kg

※麦跡大豆は、麦稈の腐熟を促進させるため、基肥のチッソ成分を1.5～2kg増量してください。

大豆乾燥施設 南条 Tel:31-4321

営農相談先 JA 高岡営農センター Tel:63-7331
高岡農林振興センター Tel:26-8477

種子消毒(病害虫防除の徹底)

- ◎ 茎疫病などの苗立枯性病害やフタスジヒメハムシを
防除するためクルーザーMAXX で種子消毒を行います。

使用薬剤	処理方法
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg当たり原液8mℓ塗抹

播種作業

- ◎ 播種深度は3cm程度に調整
- ◎ 目皿とスプロケットの組合せを確認
- ◎ 品種に応じた目皿を使用



B-2 B-22
えんれいのそら用
(10.5mm)

B-3
シュウレイ用
(12.0mm)

「えんれいのそら」において、播種機の調整等を行っても目標とする播種量が投下されない場合は目皿B-22を使用しましょう。

えんれいのそら播種量の目安 条間80cm

【目皿B-22の場合】

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.4～6.2	14～16	14	9～10
6月中旬	6.2～7.0	16～18	13	10

【目皿B-2の場合】

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.4～6.2	14～16	10～11	13
6月中旬	6.2～7.0	16～18	9～10	14

*大粒種子の百粒重34.9g、苗立率90%の場合

シュウレイ播種量の目安 条間80cm、目皿B-3の場合

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	4.6～5.7	12～15	10～11	11
6月中旬	5.7～6.9	15～18	11	13
			10	13～14
			9	14

*大粒種子の百粒重34.4g、苗立率90%の場合

除草剤散布

イヌホオズキ類はプロールプラス、ラクサー、エコトップが効果的です。
帰化アサガオ類にはサターンバロが効果的です。

薬剤名	10a当りの散布量	使用方法	散布時期
サターンバロ粒剤	4～6kg	全面土壌散布	播種後発芽前 (雑草発生前)
トレファノサイド粒剤2.5	4～6kg		
ラクサー粒剤	4～6kg		
エコトップ乳剤	500mℓ 水100ℓで希釈		播種後発芽前 (雑草発生前)
プロールプラス乳剤 (※黄色着色注意！)	500mℓ 水100ℓで希釈	雑草茎葉散布	大豆2葉期～開花期まで 収穫45日前まで
大豆バサグラン液剤	100～150mℓ 水100ℓで希釈		雑草生育初期～6葉期 収穫45日前まで
ボルトフロアブル	200～300mℓ 水100ℓで希釈		イネ科雑草3～10葉期 収穫30日前まで
バスタ液剤	300～500mℓ 水100～150ℓで希釈		雑草生育期(株間処理は大豆5葉期以降) 収穫28日前まで
パワーガイザー液剤	200～300mℓ 水100ℓで希釈	雑草茎葉散布全 面土壌散布	出芽直前～大豆3葉期まで (雑草発生始期～2葉期)

*播種後の降雨で除草剤散布前に出芽した場合はパワーガイザーを使用しましょう。

病害虫防除

2回目の基本防除は1回目の14日後頃に行い、卵から孵った幼虫を確実に防除
しましょう

基本 防除	1回目 2回目	薬剤名	散布量/10a	防除時期	対象病害虫
		トライトロン粉剤DL	3kg	8月6～15日頃 (開花後2～4週間頃)	紫斑病+カメムシ類
随時防除		ダントツ粉剤DL	4kg	8月20～29日頃	ウコンノメイガ
		トロン粉剤DL	4kg	7月末～8月上旬 多発時	カメムシ類、アブラムシ、チャ目幼虫



ほうれん草

品種

ミストラル（サカタ）：葉は濃い緑色で光沢があり、横にあまり広がらないので収穫が簡単。寒さにも強く、べと病に抵抗性も持つので作りやすい品種。

秋播きでは40～60日で収穫できます。特に冬の霜にあたったほうれん草は一段とおいしく栄養価もたかくなります。ここでは作りやすい秋播きを紹介しますが、品種を選べば、春まき夏まきもできます。



作型の例 (◆ — は種 ● — 収穫)

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
秋まき				◆ — ◆	● — ●				

栽培管理 収穫までの期間が短いことから基肥主体で栽培します。

耕起

肥料を全面に散布し、根が深く張るようによく耕します。中性の土を好むので石灰質資材を施しましょう。

畦立て

畝を立てて播種しますが、土が細かく、水が溜まらないような場所なら平畝栽培もできます。また、ハウス栽培の場合はハウス外に排水溝を設け、雨水が入らないようにしましょう。

播種

条間15cmにしてスジまきし、ふるいなどを使って薄く覆土します。4～5日で発芽するので本葉が一枚でたころに3～4cm間隔になるように間引きし、草丈が7～8cmになったら5～6cm間隔に間引きします。

水管理

播種後は十分に水をやり、発芽まで土を乾かさないようにしましょう。発芽後は立ち枯れ病を防ぐため、本葉2～3枚まで水やりは控えめにしましょう。

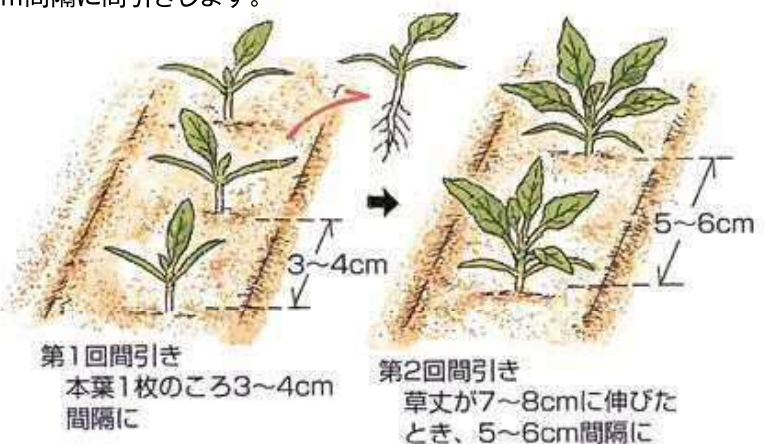
収穫

収穫適期が短いので適期を逃さないように注意。ほうれん草がしおれないように収穫作業は涼しい時間帯に行いましょう。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥
苦土石灰	20
よりん	10
ミドリトップ	15
硝加燐安333	2



栽培のポイント

播種後から発芽までは、畝の表面が乾きすぎると発芽が悪くなる場合があるので、乾かさないように注意しましょう。

さといも

品 種

石川早生(固定種)：子・孫芋が早くから着き、育つのも早い事が特徴です。子芋は丸型で多く収穫できますが、水晶芋など生理障害が発生することがあります。

大和(固定種)：芋質は粘りがあり、俵方に近い形に生長します。子・孫芋の着生が良く、芋の肥大も良好です。収穫適期が比較的長いので、遅くに掘っても大丈夫ですが、芋が割れることがあります。



作型の例 (← 定植 ● 収穫)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型										
早 掘 り		←→				●	●			
普通掘り		←→			かん水			●	●	

定 植

種芋は50~60g程度で丸型、病気や傷の無い物を選び、1a当たり20kgが目安です。畝は25cm程度必要です。種芋を植える時は深さ15cm~18cmの植え穴を掘り、芋の上に10cmの覆土をかけてください。土は種芋のまわりに隙間を作らないようにしましょう。種芋はベンレート水和剤で消毒しておくとも黒斑病などの予防になります。

芽直し

マルチ栽培の場合芽が出たときにマルチの穴から伸びず、引っこかって芽を焼いてしまう事があります。その芽をマルチの穴からできるように、マルチを破ってください。



額縁排水をしっかりと掘り、畝間に水がたまらないようにしてください。高低差をつけて排水がスムーズになるように心がけてください。

5月中旬~梅雨入り前、梅雨明け後から9月上旬に晴天が4日~7日続き、葉に水がたまらなくなったら早朝又は夕方しっかりとかん水してください。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
たかおか堆肥	200	
苦土石灰	14	
よ り ん	4	
野菜良好15号	12	
硫酸加里	2	2

子ずき(子芋から発生した茎・葉)

「大和」では、子ずきの刈り取りは7月中に終わらせてください。8月以降は孫芋の生育のため刈り取らないようにご注意ください。但し、5月下旬以降に定植し、遅植えになった場合や極端な生育不良の場合は子ずきは刈り取ってください。



栽培のポイント

さといもは、高温多湿の気候を好み、粘土質の土壌が適しています。乾燥には弱いので、水管理が重要になります。連作は、収量・品種ともに低下させるので、4年以上栽培期間をあけて下さい。



ニンジン

品 種

向陽 2 号(タキイ)：草勢が強く、根色は鮮紅色で品質が
たく、多収性の5寸ニンジン。

作型の例

(◆ — は種 ● — 収穫)

月 作型	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋冬穫り	◆ — ◆			● — ●		

播 種

株間10～12cm、3条まき、条間20cmで播種する。覆土は厚くならないように、5～8mmに均一に行い、覆土後に必ず鎮圧しましょう。

鎮圧後に3cm程度に切った
稲わらまたはモミガラを薄く
散布しておきます。



施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥	
た か お か 堆 肥	200		
苦 土 石 灰	10		
よ う り ん	4		
硝 加 燐 安 3 3 3	10		
そ さい 追肥専用		3	3

かん水

発芽から6葉までは根の肥大を決める重要な時期なので、十分な水分と養分が大切であり、地温の低い時間帯に畦間かん水をこまめに行い、適湿を保つようにしましょう。中期は土壤水分が多いと過繁茂となるのでかん水を控え、土壤を乾燥気味に管理しましょう。

間引き

根傷みしないように土に湿りのある状態で行う。

■ 1 回 目 ■

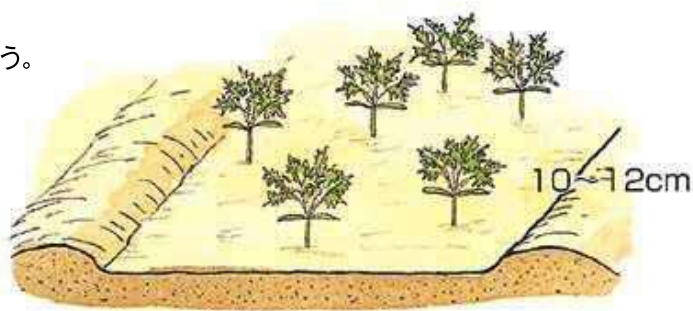
1～2枚出たところで3～4cm間隔で間引く。

■ 2 回 目 ■

3～4枚出たところで4～5cm間隔で間引く。

■ 3 回 目 ■

5～6枚出たところで10～12cm間隔で間引く。



収 穫

根の直径が5～7cmくらいになり、肩の部分が横に張り出してきたら収穫しましょう。

失 敗 し な い コ ツ

土寄せが大切!

根元が緑色になることがあります。原因は土寄せが足りずに日に当たったからです。

緑化を防ぐには、間引きのたびに根を覆うように、丁寧に土寄せすることです。

白ねぎ

品種

ホワイトスター：生育旺盛で作りやすい。肉質は緻密で繊維が細く、苦みや辛みが少なく食味上々。

冬扇2号：10月～3月どりに適する合黒タイプの秋冬ねぎで低温期の伸びがよい。さび病・べと病・黒斑病の発生が少ない。



ホワイトスター



冬扇2号

作型の例

秋どり冬どりに挑戦「白ねぎ」を栽培してみよう！

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋冬穫り		◆	◆	←	→			●	●	●	●	●

(◆ — は種 ◆ ← 定植 ● — 収穫)

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥
発酵けいふん	15
苦土石灰	16
なっちゃん ※白ねぎ用の一発肥料です。	8
硝加燐安333	1

植え溝掘り前に全面散布する(けいふん、苦土石灰、なっちゃん)

※なっちゃん：夏秋どり白ねぎ専用基肥一発肥料

※追肥は原則的に施用しないが、乾燥時葉色むらが発生した場合追肥を施用する。硝加燐安333で1aあたり2kg

播種

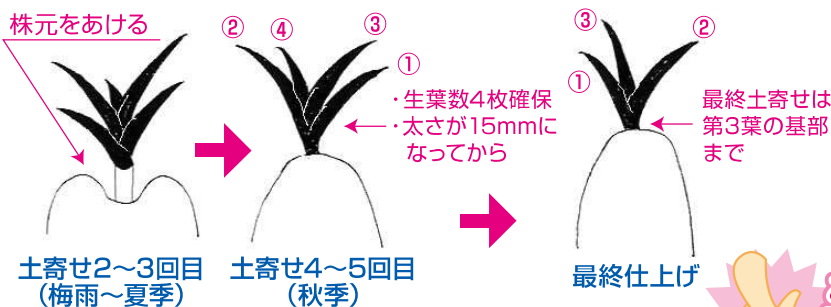
- ・2月上旬～3月下旬に播種をしましょう。
- ・水稻出芽機で芽出し(23℃ 7日間)後にハウス内に移動し育苗しましょう。乾燥したらかん水し、葉数2枚以降は換気しましょう。

定植

- ・4月上旬～5月下旬に定植する。
- ・定植苗の目安 草丈:15～20cm、葉数:2枚程度、太さ:2.0～2.5mmこれより遅れると、根が絡んで作業能率の低下や活着不良の原因となります。

土寄せ

生育をみながら5～6回土寄せを行いましょう。
(生育初期の土寄せはあてない)



収穫

最後の土寄せから3週間以上たったら収穫開始しましょう。
さわると弾力があって太く、十分に軟白しているものから掘りあげましょう。



さび病に注意

ねぎにオレンジ色の小斑ができるのはさび病で、ねぎの大敵です。病気が広がってからではなかなか防除できないので、発生したらすぐに防除しましょう。

農薬名：ラー水和水剤 2000倍液 (使用回数は3回まで)





キャベツ (秋冬穫り)

品 種

YR 初美 636：葉は柔らかく、濃い緑色で球の肥大が早い。球内は黄色が強く鮮明。球の割れ始めが遅めなので収穫適期は長め。黒斑病や黒腐れ病といった病気に抵抗性があるため作りやすい。

作型の例 (◆ は種 ← 定植 ● 収穫)

月 作型	6月	7月	8月	9月	10月	11月
秋冬穫り	◆	◆ ←	→		●	●

播 種

時期が早すぎるとトウ立ちする危険があり、逆に遅すぎると小さい球しかできなくなってしまうので播種時期は逃さないようにしましょう。

育 苗

4～5粒ずつまいたら、発芽まで新聞紙を掛けるなどして土が乾燥しないように気をけます。

芽がでたら新聞紙をとり、本葉が2枚のころに1株だけのこして間引きします。

定 植

浅めに植えてたっぷり水を与えます。植える時は手で強く押さえないように注意。

追 肥

植付後3週間おきをめどに畝の脇に施し、結球し始めたら株と株の間に与えます。結球が始まったら土寄せはしないようにしましょう、根を傷める恐れがあります。

防 除

キャベツは害虫の被害を受けやすい野菜ですので、防虫ネットの設置や早目の農薬防除等でしっかり対策をしましょう。

収 穫

手で押さえて固くしまってきたら収穫適期です。

収穫が遅れると球が割れたり、色が抜けて赤みがかってくるので収穫適期を逃さないようにしましょう。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
たかおか堆肥	200	
苦土石灰	12	
野菜良好15号	8	
硝化磷安333	4	
やさい磷加安S540	6	3

育苗のポイント

- セルトレイやペーパーポットで育苗すると定植が楽になる。
- 立枯病等の病害発生防止のため、ビニールハウス内かトンネル内など雨よけでの育苗が望ましい。
- 苗箱の下に垂木などを置き、苗箱と地面の間に空間をつくると湿気が溜まらず根腐れしにくい。

たまねぎ

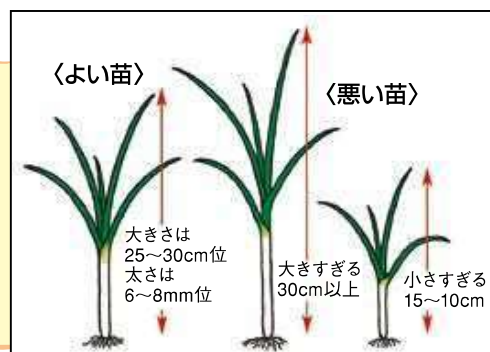
品種

ネオアース(タキイ)：甲高豊円球で皮色が濃く、テリ・ツヤが良いです。熟期は貯蔵種としては早めの中晩生種。肥大性に優れ、貯蔵中の萌芽や尻部の動きが遅く、長期貯蔵が可能です。

ターボ(タキイ)：べと病や灰色腐敗病に強く、切り球と年内までの貯蔵用に適する中生種。玉は球に近い豊円球で首部もよくしまります。



ここが成功のポイント
生育初期には-8℃程度の低温にも耐えますが、球の形成肥大の適温は15～25℃の範囲です。根は浅根性で吸肥力が弱いので、定植後、根を十分に伸張させることが重要で、年内に十分活着させ、根群を発達させておきます。貯蔵性を高めるため、肥料遅効きさせないようにし、腐敗しないよう収穫後の初期乾燥を徹底しましょう。



作型の例

(◆ — は種 ← 定植 ● — 収穫)

作型	月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
春夏穫り		◆ ◆	←	→							● ●	

本圃管理

定植

- ◎定植時期は10月下旬～11月上旬頃。遅れると越冬性が低下します。
- ◎小苗や大苗は採苗の際に取り除き、葉が3～4枚、茎の直径6mm、長さ25～30cmの苗を選び、直射日光や風によって根を乾燥させないようにしましょう。
- ◎選別した苗を深さ3cmに植えつけ、定植時に根が乾いているときは、水に浸漬後定植します。

中間管理

- ◎活着後(11月中下旬)に追肥として野菜の達人(4kg/a)及び雪解け直後の3月中旬頃と4月中旬頃にそれぞれやさい燐加安S540(3kg/a)を追肥します。
- ◎収穫後の腐敗球防止のため、5月以降は追肥しません。
- ◎水不足では球の肥大が悪くなるため、乾燥が続いたら気温の低い時間帯に、短時間の畝間かん水をします。ただし、収穫間際のかん水は裂皮につながるのでおこなわないで下さい。

収穫

茎葉が70～80%倒伏し2、3日晴天が続いた後に収穫する。倒伏は、球の肥大充実が進むにつれ首の部分に中空部を生じ、この部分が簡単に倒れるためです。収穫は早すぎると減収し、遅れると腐敗が増加します。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
たかおか堆肥	200	
苦土石灰	10	
ようりん	4	
硝化燐安333	6	
やさい燐加安S540	5	3



だいこん (秋播き秋冬穫り)

品種

快進2号(武蔵野)：早太りで、肌がきれいな総太大根。ウイルス、べと、軟腐、萎黄病に強く、耐暑性があり、播種後55～60日で収穫できます。芯が黒くなる「ス入り」が遅く、空洞の発生も少ない。

夏つかさ(トーホク)：耐暑性があり萎黄病、ウイルス病、生理障害に強く晩春から播種できる早太りの青首総太り大根。播種後55日頃から収穫可能で尻づまりが良い。

作型の例 (◆ は種 ● は収穫)

月 作型	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋冬穫り		◆ — ◆		● — ●		

管 理

耕 起

ゆっくりと丁寧に2～3回耕起し、目の細かい柔らかな土にします。

畝立て

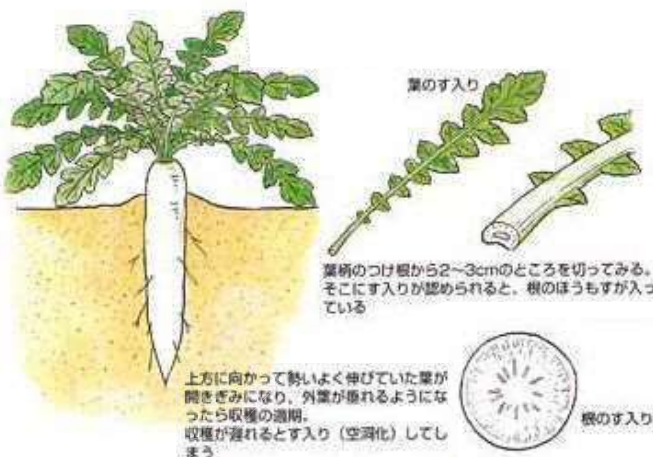
基肥を施用し、畝立てを行い、畝幅は120cmとし水田後などは特に高畝(25～30cm目標)とします。播種の10日前までに石灰資材を施用し、排水溝も予め作っておきます。

播 種

8月中旬～9月中旬

間引き

1回目は本葉2～3枚のころに、2回目は本葉5～6枚のころに行い、最終的に株間30cmの1本立てとなるようにしましょう。



施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
苦土石灰	10	
硝加磷安333	12	
やさい磷加安S540		4

追 肥

間引き終了後、播種後20～25日頃に追肥を行いますが、多量の追肥は、病害の発生を助長するとともに、葉の生育が旺盛となり曲がりにつながるので注意します。

収 穫

播種後55～65日頃で根径6～7cm程度に生育したころ。収穫が遅れるとス入り等の品質の低下につながるので注意しましょう。

栽培の特徴とポイント

この作型は、生育適温に最もあったつくりやすい作型ですが、早まきする場合、病虫害や生理障害が発生し、品質低下につながるので注意しましょう。また、肌の良し悪しが品質を大きく左右するので、土が細かく、排水が良い場所を選択し、深耕や排水対策を積極的に行ってください。

じゃがいも (春植え夏穫り)

品種

メークイン：男爵より細長く、硬めのいもで。煮くずれしにくい。

キタアカリ：皮色は黄色で目の部分に赤紫色の着色がある。やわらかく煮くずれしやすい。



作型の例

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
作型									
春植え 夏穫り		◆	◆		●	●			
		植付			収穫				

本圃管理

畝作り

肥料・土壌改良資材等を撒いた後、深く耕しできるだけ細かい土壌をつくります
排水対策のため、あらかじめ畝を立てておきましょう。

植付け

3月下旬～5月上旬。芽を残しながら1片が50gほどになるよう切り、切り口を下にして並べ、覆土します。
春作では遅霜の被害を防ぐため7～8cmとやや多めに覆土します。

芽かき

芽が3～5cmの長さになった頃1株2～3本立てとします。芽が多すぎるといもが中々大きくなりません。

土寄せ

1回目は草丈15cm頃、2回目はつぼみが見え始める頃に10cmを目安に土寄せを行う。
追肥をする場合は溝または畝の肩に肥料を施してから土寄せしましょう。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥	
		1回目 土寄せ時	2回目 土寄せ時
苦土石灰(注)	10		
過磷酸石灰	3		
硝加燐安333	16	2	2

(注) じゃがいもは弱酸性土壌を好むので、前作等で撒いている場合は量を減らしましょう。



ここが成功のポイント

土寄せ量が不足すると、いもが地上に顔を出し緑化してしまうので、十分に行いましょう。

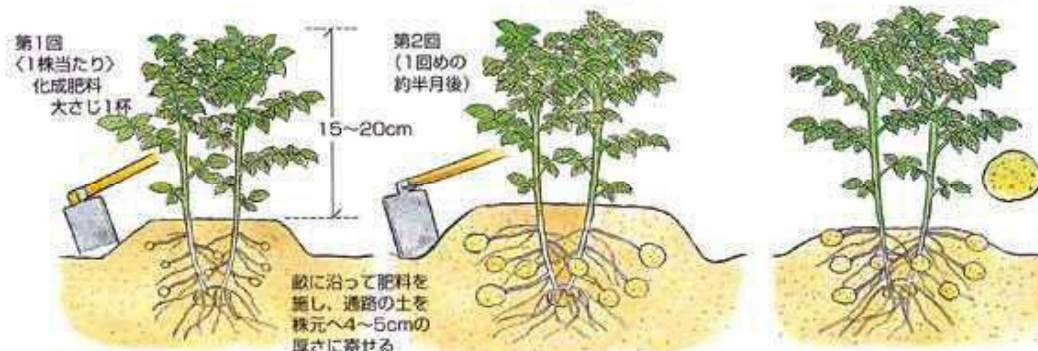
収穫

茎や葉が黄色くなった頃が目安であるが、試し掘りをして十分な肥大が確認できた頃から早掘りする方法もあります。

収穫したいもは、直射日光が当たらない、風通しのよい所に広げ、3～4日間よく乾かしましょう。

第1回と同様に肥料を施し、土寄せを4～5cmの厚さに行う

土寄せが不足すると、イモが日光に当たって緑化し、品質を損ねる





なす

夏野菜の代表格。漬物、焼き物、煮物、揚げ物と多くの用途がある野菜です。用途によって品種をかえても良いです。

品種

千両2号（タキイ）：果形は長卵形で果皮色は、濃黒紫色で光沢があります。果実の太りは早く、果皮はやわらかいです。石ナスや、夏ボケ果の発生は少なく、高温乾燥期でも果形の乱れが少なく、秀品率が高いです。

水ナス（タキイ）：水茄子は灰汁が少なく、水分を多量に含んでおり生食が可能です。形は通常のナスより丸みを帯びており、漬物として食べられることが多いです。

作型の例 (← 定植 ● 収穫)

月	4月	5月	6月	7月	8月
夏穫り		←→	●—	—	●

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基 肥
た か お か 堆 肥	20
苦 土 石 灰	14
野 菜 の 達 人	10
油 か す	10

追 肥

(基肥の目安)

肥料の種類	1株あたり
やさい磷加安S540	一握り(約30g)

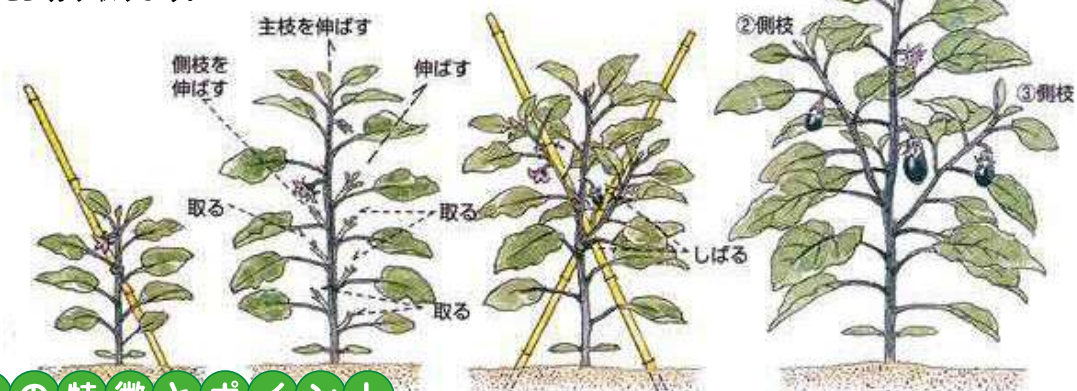
追肥は、肥料ぎれのないよう、15日から20日に1回のペースで行います。

定 植

- ◎ 定植時期は5月上旬～5月中旬頃。
- ◎ 植え付け2～3時間前に苗鉢に十分かん水し、深植えはしません。
- ※ 接木苗は、穂木から発根しないように接木部分が地面から上に位置するようにします。

支柱立て・誘引・整枝

- ◎ 一番花のすぐ下と、その下にある勢いの良い側枝を伸ばします。
- ※ 一番花の果実は石ナスになりやすいので、花が落ちたら切り取ります。



栽培の特徴とポイント

- 果菜の中では高温を好むほうなので、早植えは禁物です。
- 夏の暑さには比較的よく耐え、秋遅くまで収穫することができます。
- 光線不足は発色不良となるので、込み入った葉は取り除き、着実に光線を当てます。

トマト

品種

桃太郎8（タキイ）：夏秋栽培用の完熟品種です。果実の硬さと甘さは「桃太郎」と同程度で、果重220g、程度です。果形は豊円で多肉質。熟期は早生で、果色は濃桃色。病気にもかかりにくい。



作型の例

（ ← 定植 ● 収穫 ）

作型 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月
夏穫り		←→	●	●	●

土作り

◎ 土管理

畝立ては、畑が乾燥している場合は十分に水をやり、やや湿り気のある状態で行って下さい。畝中心部が水分を保つように作って下さい。排水の悪いほ場では畝を高くして下さい。

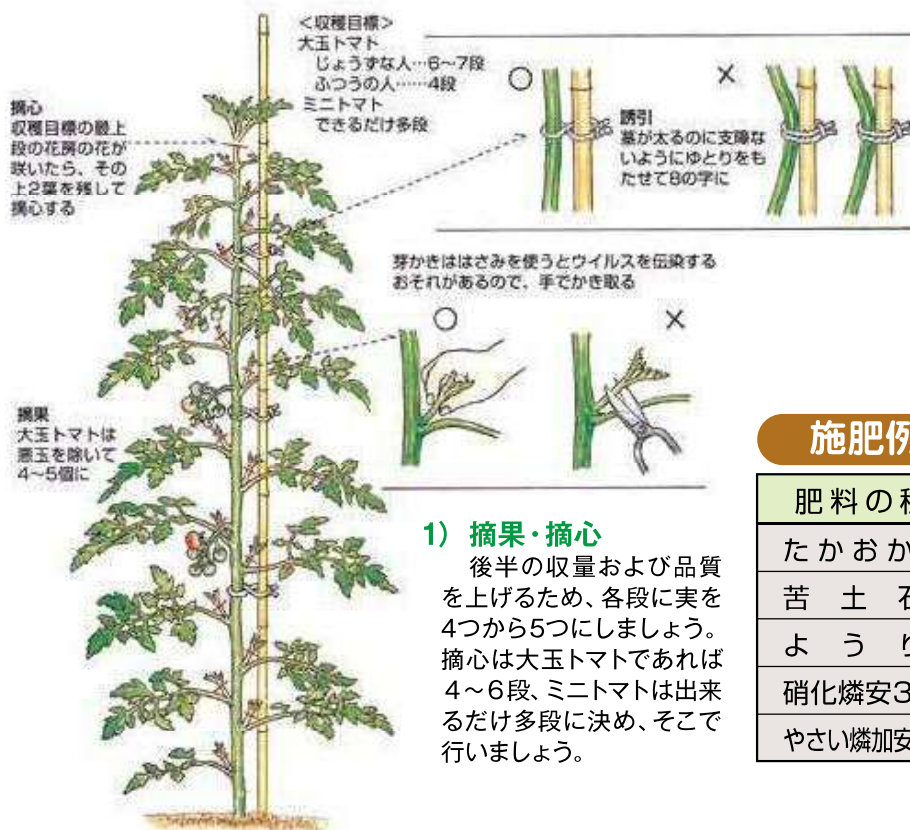
◎ 肥料

基肥は少なめにし、追肥で補っていく事が栽培のポイントですので追肥をきちんと行ってください。茎や、葉の様子に応じて行うことが重要です。

◎ 定植

定植の畝は早目に仕上げ、植穴に水を1リットルぐらいしみ込ませ、苗鉢には当日十分かん水し、晴天の暖かい日に植えてください。第1花房の1～2花が開花し、本葉10枚、茎の太さがタバコの太さ、草丈は30～35cm程度の苗が良いです。

ポイントは浅めに植えて、花が通路に向くように定植してください。



わき芽は小さいうちに摘み取りましょう。最初の実より下が込んできた場合、晴れた日に混み過ぎの葉を除去して下さい。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
たかおか堆肥	300	
苦土石灰	12	
よりん	8	
硝化磷安333号	3	
やさい磷加安S540	4	2

1) 摘果・摘心

後半の収量および品質を上げるため、各段に実を4つから5つにしましょう。摘心は大玉トマトであれば4～6段、ミニトマトは出来るだけ多段に決め、そこで行いましょう。



きゅうり

品 種

VR夏すずみ：良く実が付き、病気にかかりにくい夏から秋まで収穫が可能なキュウリ！

作型の例

(← 定植 ● 収穫)

月 作型	4月	5月	6月	7月	8月
夏捕り		←→	●	—	●

畑管理

◎ 土管理

土をしっかりと耕して、圃場をふかふかにしたあと、堆肥、肥料を全面散布してください。きゅうりは比較的浅く広がるため20cm程度の深さまでに肥料を混ぜてください。

◎ 肥料やり

基肥は、定植7～10日前には行いましょう。

追肥は1～2個実が付いた頃に1回目を行い、それ以降は15～20日間隔で行う。但し、葉っぱの色、実の太り具合によって量や時期を調整してください。

また、一度に大量に追肥を行うと苦味の多い実が出来てしまうので注意しましょう。

◎ 栽植密度

畝幅 90cm(通路100cm)×株間60cm 2条植え

◎ 定植

定植は、晴れた日の午前中に行い、浅めに植えてください。

◎ 整枝法

下の葉から5節目までのわき芽はかき取り、それより上のわき芽は葉を二枚残し摘心を行う。

◎ かん排水

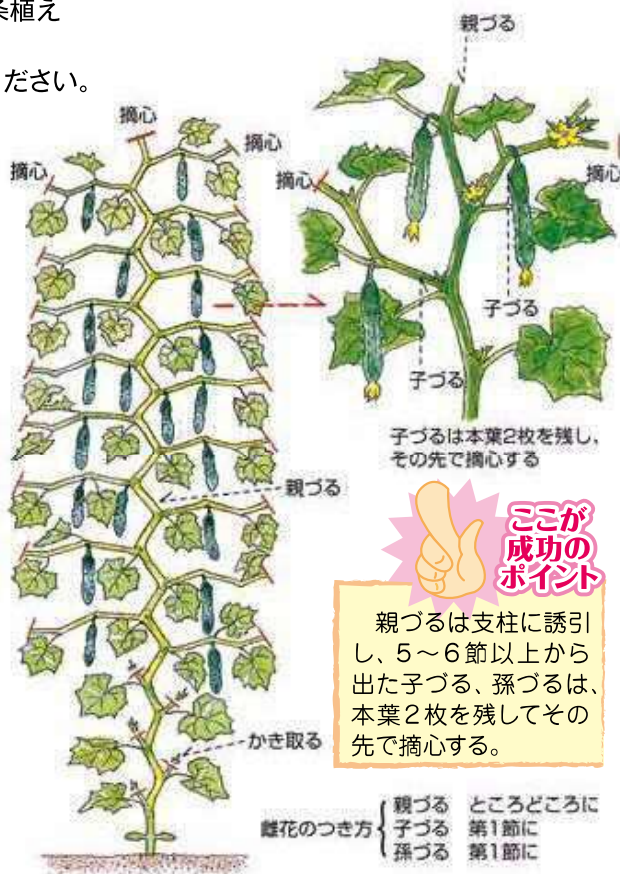
きゅうりの根は非常に浅いので乾燥には非常に弱いです。しっかりと圃場が乾いてきたらかん水を行いましょう。

排水管理は梅雨に入る前に外側に溝を掘り水がたまらないようにしましょう。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥
たかおか堆肥	300	
苦土石灰	15	
醗酵けいふん	30	
よ う り ん	6	
油 か す	10	
野菜良好15号	16	3×5回





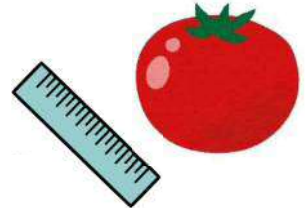
その登録の農薬を散布して大丈夫ですか？



作物の名前や、種類が似ていても、農薬の登録は別の作物として登録されているものがあります。しっかり理解していないと登録の無い作物に使用してしまい、残留農薬が基準値を超える場合があるので注意しましょう。

1. 中玉トマトを栽培しているが、農薬の登録は「トマト」「ミニトマト」のどちらを使えばいいか。

「トマト」と「ミニトマト」は果実の直径が3 cm より大きい小さいかで判断します。そのため、中玉トマトの場合は、栽培している品種の果実の直径が3 cm より大きければ「トマト」、小さければ「ミニトマト」に登録のある農薬を散布しましょう。



2. だいこんを間引きして「つまみ菜」として食べる場合、農薬の登録に「だいこん」と記載してある農薬を使用していいか。



だいこんの「つまみ菜」は、よく流通しているため、「つまみ菜」での使用も想定しての登録になっています。しかし、農薬の種類によっては、『間引き菜・つまみ菜では使用不可』などと記載してある場合がありますので、「つまみ菜」として収穫する場合は、農薬のラベルをよく確認してから使用しましょう。

また、はつかだいこんは「はつかだいこん」に登録のある農薬を使用しましょう。「だいこん」に登録されている農薬は使用できないので注意しましょう。

3. 茎ブロッコリーに農薬を散布したいが、農薬の登録は「ブロッコリー」でいいか。

ブロッコリーの登録は「ブロッコリー」、茎ブロッコリーの登録は「茎ブロッコリー」でそれぞれに登録があります。

他に「はなやさい類」や「あぶらな科野菜（花蕾及び茎）」、「野菜類」の登録がある場合も茎ブロッコリーに使用できます。



4. 「ねぎ」に登録のある農薬は、「葉ねぎ」に使ってもいいか。



「ねぎ」に登録のある農薬の場合は、「葉ねぎ」に使用することができませんが、逆に、「葉ねぎ」に登録のある農薬を「ねぎ」に使用することはできません。

5. 「未成熟とうもろこし」の登録がある農薬を散布したとうもろこしのヤングコーンを収穫したが大丈夫か。



通常食するとうもろこし(スイートコーン)は「未成熟とうもろこし」、「とうもろこし」、「雑穀類」に登録のある農薬が使用できます。ヤングコーンとして収穫して食べるときは、農薬の登録が「ヤングコーン」または「野菜類」となっているものを使用しましょう。

6. さやいんげんに農薬を散布したいが、手持ちの農薬の登録に、「豆類(種実)」と「豆類(未成熟)」と書いてあるものがある。どちらを使うのが正しいか。

さやいんげんには「豆類(未成熟)」の登録のある農薬を使用しましょう。また、「さやいんげん」や「野菜類」の登録がある場合も使用可能です。「豆類(種実)」で散布できるのは、大豆やいんげんまめ、えんどうまめです。



このようなことを知っておかないと、間違った農薬を散布してしまうことになります。消費者から「安全・安心」な農産物が求められている中、正しい知識を身に付けて作物の栽培に務めることが重要です。



この野菜に、この農薬は使えるのかな？

あの野菜に使えるなら、この野菜にも使えるだろう。



「大丈夫だろう。」と思って、間違った農薬を散布した結果、自分が出荷した農産物から残留農薬が基準値を超えて検出されてしまうと大変です。

迷ったときはJAの指導員や、振興センター等の関係機関へ確認してから農薬を使用しましょう！

その他農薬散布時の注意

- 使用回数や散布量をしっかり確認して、正しく使用しましょう。
- 散布は風のない日や風の弱い時間に行うことで、飛散防止しましょう。
- 農薬を散布した場合、農薬の名前や散布日、散布量を記録しておきましょう。
- 散布機を使用する場合は、使用後に機械をしっかりと洗浄し、農薬が残らないようにして保管しましょう。

ご不明な点は、担当営農指導員へお問い合わせください。

令和5年産米 栽培管理記録簿（記入例）

住 所	富山県高岡市 あわら町 1-1
生産者名	高岡 太郎

品 種 名	コシヒカリ
GAPの実施	☒

栽培圃場一覧

No.	地名地番	面 積	No.	地名地番	面 積
1	あわら町 ○○○	30 a	7		a
2	あわら町 ○×△	30 a	8		a
3	あわら町 △□	30 a	9		a
4	あわら町 ○×	10 a	10		a
5		a	11		a
6		a	12		a
栽培圃場一覧に書ききれない場合は、別途圃場一覧を添付して下さい。				合計	100 a

作業機械メンテナンス (清掃・オイル交換等)	3月 10日 / 4月 26日 / 5月 15日 / 8月 10日 / 9月 10日 9月 25日 / 月 日 / 月 日 / 月 日 / 月 日
---------------------------	--

秋耕起・春耕起	代 か き	田 植 え	中 干 し	出 穂 期
10月 15日～10月 20日 4月 15日～4月 16日	5月 6日～5月 7日	5月 13日～5月 15日	6月 13日～6月 25日	8月 2日～8月 4日
種子・苗購入先	【未消毒種子】 ☐ J A ☐ その他() 【消毒済種子】 ☒ J A ☐ その他()			
	【発 芽 苗】 ☐ J A ☐ その他() 【完 成 苗】 ☐ J A ☐ その他()			

区 分	資 材 名	施用月日	施 用 量
土 づ く り	☒ 有機加里入りシリカロマン 2号 ☐ 鉄田満太郎 ☐ シリカロマン ☐ 砂状ケイカル ☐ その他()	10月 15日～ 日	80 kg/10a
		月 日～ 日	kg/10a
育 苗 期	種子消毒 ☐ テクリードCフロアブル	月 日～ 日	200 倍液 24 時間浸漬
	苗箱消毒 ☒ イチバン	4月 20日～ 日	500～1000 倍液瞬時浸漬
	播 種 時 ☒ ナエファインフロアブル ☐ カスミン液剤 ☐ カスミン粒剤	4月 25日～ 日 月 日～ 日	500倍液 500 cc/箱 g/箱
	苗 病 害 ☐ ①タガレースM液剤 ☐ ②タガレースM粉剤 ☐ その他()	月 日～ 日	①は500倍液 500cc/箱 ②は置床 50g/m ²
	田 植 え ☒ G.オリゼリディアE V箱粒剤 ☐ その他()	5月 13日～15日	50g/箱

※圃場ごとに使用農薬等が異なる場合は、複数枚に記入し栽培圃場一覧に地名地番・面積を記入して下さい。

区 分		資 材 名		施用月日	施 用 量
施 肥	基 肥	☐ 基肥 555 ☐ Jコート早生専用 ☒ Jコートコシカ号 1号 ☐ L P s s 晩生専用 ☐ その他 ()	☐ L P 555-1号 ☐ Jコートコシカ 2号 ☐ 鉄コート直播コシヒカリ	5月13日～15日	30 kg/10a
	早期追肥	☐ 基肥 555	☐ その他 ()	月 日～ 日	kg/10a
	中間追肥	☐ エスアイ加里らくだ	☐ その他 ()	月 日～ 日	kg/10a
	つなぎ肥	☐ 化成 8号	☐ その他 ()	月 日～ 日	kg/10a
	穂 肥	☒ 追肥 3号	☐ その他 ()	8月1日～2日	5 kg/10a
				月 日～ 日	kg/10a
				月 日～ 日	kg/10a
	一 発	☐ エンペラー 1 キロ粒剤 ☐ ゴウワンDLジャンボ ☐ その他 ()	☐ ゼータジャガー1キロ粒剤 ☐ ディオーレ顆粒		
	初 期	☒ スラッシュ 1 キロ粒剤 ☐ 農将軍フロアブル	☐ ラオウ 1 キロ粒剤 ☐ その他 ()	5月13日～15日	1kg /10a
	中 期	☒ ザーベックス IXI 和粒剤 ☐ アールタイプフロアブル	☐ アクシズMX1キロ粒剤 ☐ その他 ()	6月2日～5日	1kg /10a
そ の 他	☐ バサグラン粒剤 ☐ トドメMF乳剤 ☐ トドメMF1キロ粒剤 ☐ レブラス 1 キロ粒剤 ☐ テッケンジャンボ ☐ ロイヤント乳剤	☐ バイスコープ 1 キロ粒剤 ☐ ヒエククリーン 1 キロ粒剤 ☐ クリンチャージャンボ ☐ トドメバスMF液剤 ☐ ワイドパワー粒剤 ☐ その他 ()	月 日～ 日	/10a	
			月 日～ 日	/10a	
本 田 防 除	粉 剤	☒ ビームモンカッタスタークル F粉剤 5IL		8月3日～6日	4 kg/10a
		☒ キラップ粉剤DL		8月10日～13日	4 kg/10a
	粒剤・豆つぶ	☐ イモチースタークル 3キロ粒剤 ☐ ワイドパンチ豆つぶ	月 日～ 日	kg/10a	
	液 剤	☐ ビームエイトスタークルゾル ☐ その他 ()	月 日～ 日	倍液 ℓ/10a	
		☐ モンカッタフロアブル ☐ その他 ()	月 日～ 日	倍液 ℓ/10a	
		☐ キラップフロアブル ☐ その他 ()	月 日～ 日	倍液 ℓ/10a	
	ラジヘリ 委 託 先	☐ J A ※施用月日・施用量は記入不要です。	☐ その他 ()	月 日～ 日	/10a
そ の 他		月 日～ 日	/10a		
収 穫 期	刈取り予定日 (9月14日～20日)	乾燥調製	☐ 自己乾燥 ☒ J A施設 ☐ その他 ()		

※ 上記資材以外を使用の場合は、空欄に商品名を記入して下さい。

※ 圃場ごとに使用農薬等が異なる場合は、複数枚に記入し栽培圃場一覧に地名地番・面積を記入して下さい。

J A 確認欄
月 日

令和5年産米 栽培管理記録簿（提出用）

住 所	富山県高岡市
生産者名	

品 種 名	
GAPの実施	☐

栽培圃場一覧

No.	地名地番	面 積	No.	地名地番	面 積
1		a	7		a
2		a	8		a
3		a	9		a
4		a	10		a
5		a	11		a
6		a	12		a
栽培圃場一覧に書ききれない場合は、別途圃場一覧を添付して下さい。				合計	a

作業機械メンテナンス (清掃・オイル交換等)	月 日 / 月 日 / 月 日 / 月 日 / 月 日 月 日 / 月 日 / 月 日 / 月 日 / 月 日
---------------------------	--

秋耕起・春耕起	代 か き	田 植 え	中 干 し	出 穂 期
月 日～ 月 日 月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
種子・苗購入先	【未消毒種子】 ☐ JA ☐ その他() 【消毒済種子】 ☐ JA ☐ その他()			
	【発 芽 苗】 ☐ JA ☐ その他() 【完 成 苗】 ☐ JA ☐ その他()			

区 分	資 材 名	施用月日	施 用 量
土 づ く り	☐ 有機加里入りシリカロマン2号 ☐ 鉄田満太郎 ☐ シリカロマン ☐ 砂状ケイカル ☐ その他()	月 日～ 日	kg/10a
		月 日～ 日	kg/10a
育 苗 期	種子消毒 ☐ テクリードCフロアブル	月 日～ 日	200 倍液 24 時間浸漬
	苗箱消毒 ☐ イチバン	月 日～ 日	500～1000 倍液瞬時浸漬
	播 種 時 ☐ ナエファインフロアブル ☐ カスミン液剤 ☐ カスミン粒剤	月 日～ 日 月 日～ 日	倍液 cc/箱 g/箱
	苗 病 害 ☐ ①好ガレースM液剤 ☐ ②好ガレースM粉剤 ☐ その他()	月 日～ 日	①は 500 倍液 500cc/箱 ②は置床 50g/m ²
	田 植 え ☐ G.オリゼリディアE V箱粒剤 ☐ その他()	月 日～ 日	50g/箱

※圃場ごとに使用農薬等が異なる場合は、複数枚に記入し栽培圃場一覧に地名地番・面積を記入して下さい。

区 分		資 材 名		施用月日	施 用 量
施 肥	基 肥	☐ 基肥 555 ☐ Jコート早生専用 ☐ Jコートシカ号 1号 ☐ L P s s 晩生専用 ☐ その他 ()	☐ L P 555-1号 ☐ Jコートシカ 2号 ☐ 鉄コート直播コシヒカリ	月 日～ 日	kg/10a
	早期追肥	☐ 基肥 555 ☐ その他 ()		月 日～ 日	kg/10a
	中間追肥	☐ エスアイ加里らくだ ☐ その他 ()		月 日～ 日	kg/10a
	つなぎ肥	☐ 化成 8号 ☐ その他 ()		月 日～ 日	kg/10a
	穂 肥	☐ 追肥 3号 ☐ その他 ()		月 日～ 日	kg/10a
				月 日～ 日	kg/10a
				月 日～ 日	kg/10a
	一 発	☐ エンペラー 1 キロ粒剤 ☐ ゴウワンDLジャンボ ☐ その他 ()	☐ ゼータジャガー1キロ粒剤 ☐ ディオーレ顆粒		
	初 期	☐ スラッシュ 1 キロ粒剤 ☐ 農将軍フロアブル	☐ ラオウ 1 キロ粒剤 ☐ その他 ()	月 日～ 日	/10a
	中 期	☐ ザーベックス IX1 粒剤 ☐ アールタイプフロアブル	☐ アクシズMX1 キロ粒剤 ☐ その他 ()	月 日～ 日	/10a
	そ の 他	☐ バサグラン粒剤 ☐ トドメMF 乳剤 ☐ トドメMF 1 キロ粒剤 ☐ レブラス 1 キロ粒剤 ☐ テッケンジャンボ ☐ ロイヤント乳剤	☐ バイスコープ 1 キロ粒剤 ☐ ヒエククリーン 1 キロ粒剤 ☐ クリンチャージャンボ ☐ トドメバスMF 液剤 ☐ ワイドパワー粒剤 ☐ その他 ()	月 日～ 日	/10a
				月 日～ 日	/10a
本 田 防 除	粉 剤	☐ ビームモンカットスタークル F粉剤 5IL		月 日～ 日	kg/10a
		☐ キラップ粉剤DL		月 日～ 日	kg/10a
	粒剤・豆つぶ	☐ イモチースタークル 3 キロ粒剤 ☐ ワイドパンチ豆つぶ		月 日～ 日	kg/10a
	液 剤	☐ ビームエイトスタークルゾル ☐ その他 ()	月 日～ 日	倍液 ℓ/10a	
		☐ モンカットフロアブル ☐ その他 ()	月 日～ 日	倍液 ℓ/10a	
		☐ キラップフロアブル ☐ その他 ()	月 日～ 日	倍液 ℓ/10a	
	ラジヘリ 委 託 先	☐ J A ※施用月日・施用量は記入不要です。 ☐ その他 ()		月 日～ 日	/10a
	そ の 他			月 日～ 日	/10a
収 穫 期	刈取り予定日 (月 日～ 日)	乾燥調製	☐ 自己乾燥 ☐ J A 施設 ☐ その他 ()		

※ 上記資材以外を使用の場合は、空欄に商品名を記入して下さい。

※ 圃場ごとに使用農業等が異なる場合は、複数枚に記入し栽培圃場一覧に地名地番・面積を記入して下さい。

J A 確認欄
月 日

JA高岡関係機関 事業所別電話番号一覧表(営農関係)

事業所名		TEL・FAX	事業所名	TEL・FAX
JA 高岡営農センター	農業振興課	TEL 63-7331 FAX 63-3872	南条カントリーエレベーター	TEL 31-4321 FAX 31-4201
	(生産資材)	TEL 50-9005 FAX 27-8891	国吉カントリーエレベーター	TEL 27-3077 FAX 27-3078
	農産物販売課	TEL 63-7334	中田カントリーエレベーター	TEL 36-0044 FAX 36-1404
	高岡市農業再生協議会	TEL 63-7332	戸出カントリーエレベーター	TEL 63-6934 FAX 63-1951
資材センター佐野		TEL 27-8601 FAX 27-8661	堆肥センター	TEL/FAX 27-3072
資材センター国吉		TEL 31-8005 FAX 31-8006	農機センター	TEL 63-3030
資材センター戸出		TEL 63-5555 FAX 63-3893	農産物直売所 あぐりつち	佐野店 TEL 22-0230
(株)JA アグリネット高岡		TEL 36-0036 FAX 36-0036		戸出店 TEL 63-0107
中田農業振興センター		TEL 36-0022 FAX 36-0039		矢田店 TEL 44-6504
			高岡農林振興センター	TEL 26-8477


JA高岡
takaoka

[HOME](#)

[お問い合わせ](#)
[個人情報保護方針](#)
[サイトマップ](#)

文字サイズ [小](#) [中](#) [大](#)

 **営農**
 **金融・共済**
 **経済**
 **事業所の所在地**
 **介護・福祉**

[ホーム > 営農情報](#)

営農情報

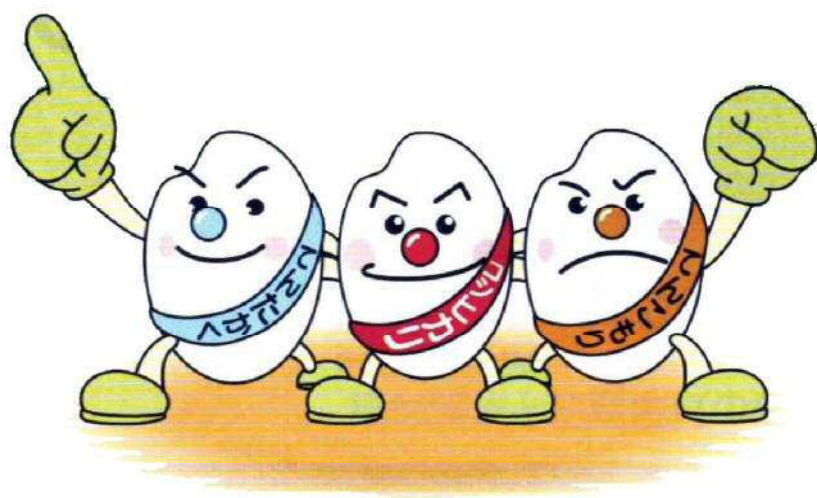
営農センター(JA高岡 農業振興課)

営農指導員携帯番号はこちら
http://www.ja-takaoka.or.jp/einou/einou_note.html

新着情報 一覧

2021/10/01	稲作管理情報 水稻・直播・富富富 new	
2021/09/07	大麦・小麦管理情報	
2021/10/11	大豆管理情報 new	
2020/04/21	園芸管理情報 野菜・花木	
2021/04/21	営農ノート・営農指導員等携帯電話番号	





営農記録ノート ～農作業のあしあと～

令和5年1月作成



J A 高岡



こちらから営農情報をご覧頂けます

<http://www.ja-takaoka.or.jp/einou/>

J A 高岡営農

検索

